

令和4年度  
長野県木材青壮年団体連合会

第1回定例理事会



令和4年7月9日（土）  
長野市 長野県林業センター

# 日本木材青壮年団体連合会 綱領・会歌

## 綱 領

われわれ木青連は

おなじ世代の木材人として  
交流を深め相互の啓発につとめよう

若い英知と情熱を結集し  
不屈の精神をもって行動しよう

木材界の発展を通じ  
よりよい社会を建設しよう

## 会 歌

一、木を愛し木と共に

暮らしの基を 育くみて

未来のために世のために

広く普及<sup>った</sup>えた 木の香り

ああ 我ら

木青連の心意気

二、木を学び 木に求め

あまねく同志<sup>とも</sup>と たずさえて

相互<sup>たがい</sup>の力 結びあい

文化日本を 拓くのは

ああ 我ら

木青連の理想なり

三、木に育ち 豊かさを

伸びゆく我ら 若人が

若き叡知と 情熱で

明日の社会を 築くのは

ああ 我ら

木青連の使命なり

# 令和4年度 第1回定例理事会 次第

日時：令和4年7月9日（土） 15:30～17:00

場所：長野市 長野県林業センター

- 1 開会の辞
- 2 会歌斉唱及び綱領唱和
- 3 出席者確認
- 4 会長挨拶
- 5 直前会長挨拶
- 6 資料確認及び字句訂正
- 7 連絡報告事項
  - (1) 会議事業経過報告
  - (2) 会団割会費及びPR会費納入について
  - (3) ウッディレター配信料について
  - (4) 日本木青連からの連絡事項について
  - (5) 出向者活動報告
  - (6) 正副会長・事務局連絡事項
- 8 議長指名
- 9 議事
  - (1) 開会宣言
  - (2) 議事録作成人指名
  - (3) 定足数確認
  - (4) 審議事項
    - 第1号議案 令和3年度臨時理事会議事録・令和4年度臨時理事予定者会議議事録  
令和4年度定時総会議事録
    - 第2号議案 令和4年度PRカレンダー幹旋事業（案）承認の件
    - 第3号議案 第45回児童生徒木工工作コンクール開催（案）承認の件
    - 第4号議案 信州山の日2022木工教室（案）承認の件
    - 第5号議案 ビアフェス木工教室（案）承認の件
    - 第6号議案 木工体験活動指導者派遣事業（案）承認の件
    - 第7号議案 全国大会実行委員会設置（案）承認の件
    - 第8号議案 役員選考委員会設置（案）承認の件
    - 第9号議案 第2回定例理事会開催日（案）承認の件
- 10 協議事項
  - ・木青連会員拡大等について
- 11 会団事業・活動報告
- 12 監事講評
- 13 閉会の辞

## 会議・事業経過報告

2月 22日	長野県木青連 日木出向者選定会議		WEB会議
3月 4日	日本木青連 理事予定者会議・委員会		WEB会議
3月 5日	日本木青連 第7回理事会		WEB会議
3月 5日	日本木青連 第134回臨時総会		WEB会議
3月 29日	長野県緑の基金 評議委員会		書面表決
4月 9日	長野県木青連 理事予定者会議		WEB会議
4月 13日	長野県林務部・中部森林管理局新年度挨拶回り	長野	長野県・中部森林管理局
4月 15日	新任挨拶廻り(常任理事以上)	東京	
4月 16日	第1回理事会(東京WEB会議)	東京	WEB会議
4月 27日	長野県林業団体協議会通常総会	長野	長野県林業センター
4月 27日	森林・林業施策懇談会(春)・長野県林務部	長野	長野県林業センター
4月 27日	中部森林管理局と長野県林業団体との懇談会	長野	長野県林業センター
5月 9日	長野県木青連 監査	長野	長野県木連
5月 14日	長野県木青連 令和3年度臨時理事会		WEB会議
5月 14日	長野県木青連 臨時理事予定者会議		WEB会議
5月 14日	長野県木青連 定時総会		WEB会議
5月 27・28日	第67回全国会員北海道大会	北海道	カナモトホール・札幌グランドホテル
5月 31日	長野県木材産業政治連盟 通常総会	長野	ホテル信濃路
6月 22日	長野県緑の基金 評議委員会	長野	長野県林業センター
7月 5日	長野県県産材振興対策協議会 通常総会		書面表決
7月 8日	長野県木材産業振興基金 通常総会		書面表決
7月 9日	長野県木青連・第1回理事会	長野	林業センター

令和4年7月9日

会团长・個人会員 各位

長野県木材青壮年団体連合会  
財務担当副会長 由井 正宏

## 会団割会費・PR会費・ウッディレター配信料についてのお願い

総会でご決定頂きました通り、令和4年度の会費等を下記の通り納入頂きますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 納入金額

会団名	会員数	会員割会費 @10,400	PR会費 @30,000	ウッディレター配信料 @2,600	合計(円)	
北信木青連	9名	93,600	270,000	23,400	387,000	
東信木青連	上小支部	4名	41,600	120,000	10,400	172,000
	佐久支部	4名	41,600	120,000	10,400	172,000
		特別会員 1名	10,400	30,000	0	40,400
松本材青会	9名	93,600	270,000	23,400	387,000	
個人会員	1名	10,400	30,000	0	40,400	

#### 2. 納入期限

**7月29日(金)**

#### 3. 振込先

八十二銀行 本店営業部

店番号 210 口座番号 1155787

口座名義 長野県木材青壮年団体連合会

#### 4. 会団PR事業費の拠出について

令和5年1月末をめどに各会団にPR事業報告を提出していただき、支払いを行う予定。  
尚、入出金の期日の関係上、PR会費とPR事業費の相殺はできません。

#### 5. その他

領収書発行のご希望は由井副会長までお申し出下さい。

# 令和4年度PR事業報告書

会 団 名 \_\_\_\_\_

1. 事業名

2. 日 時

3. 場 所

4. 参加者数（来場者数）

子供 人

大人 人

5. 木青連出席者氏名

6. 内容・題材

7. 添付資料

・写真添付

（jpg データで送ってください。※1枚1枚のデータに、イベント名を記載してください。）

複数の事業を行う場合は本紙をコピーの上、1事業1枚の報告書を提出して下さい。  
（提出期限：令和5年1月末日まで）

8. 収支精算書

収入の部

科 目	金 額	摘 要
合 計		

支出の部

科 目	金 額	摘 要
合 計		

(教材費・材料費、会場費、パンフレット代、テキスト代、道具代、  
弁当代、雑費、などの項目別に記入して下さい)

※県の補助事業の対象となりますので、領収書については宛先を長野県木青連としてください。

また、但し書きと日付も必ず入れてください。

口 座	金融機関		口座番号	
	口座名義人		普通・当座	

**提出期限 令和5年1月末日（必着）**

【領収書のコピー添付欄】



会 団 名 長野県木青連

1. 事業名

信州山の日イベント[木工教室]

2. 日 時

令和〇年7月〇日（日）  
9:30～16:30

3. 場 所

〇〇市 〇〇高原

4. 参加者数（来場者数）

子供 100人  
大人 90人

5. 木青連出席者氏名

長野 太郎（終日）  
信州 一郎（終日）  
松本 太郎（午前）  
上田 一郎（午前）

6. 内容・題材

木工教室を開催。

・ミニ椅子づくり（イスキット） 100セット

《講師内容》

① イスの作り方（5分）木青連

② イス作り開始（45分）※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

7. 添付資料

・写真添付

（jpg データで送ってください。※1枚1枚のデータに、イベント名を記載してください。）



式典風景



木工教室



木工教室（イスづくり）



木工教室（イスづくり）



木工教室（イスづくり）



木工教室（イスづくり）

複数の事業を行う場合は本紙をコピーの上、1事業1枚の報告書を提出して下さい。  
（提出期限：令和5年1月末日まで）

8. 収支精算書

収入の部

科 目	金 額	摘 要
PR事業費	115,576 円	
合 計	115,576 円	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
材料費	81,000 円	県産材（杉）イス材料 810 円×100 セット
加工費	16,200 円	イス材料加工 162 円×100 セット
搬入費	5,000 円	運搬費（搬入・搬出）
備品、雑費 など	11,000 円	受付簿、整理券、会員紹介・木青連 PR チラシ印刷等
印刷費	2,376 円	受付簿、整理券等印刷
合 計	115,576 円	（税込）

（教材費・材料費、会場費、パンフレット代、テキスト代、道具代、弁当代、雑費、などの項目別に記入して下さい）

※県の補助事業の対象となりますので、領収書については宛先を長野県木青連としてください。

また、但し書きと日付も必ず入れてください。

口 座	金融機関	八十二銀行 ○○支店	口座番号	No.000000000
	口座名義人	長野県木青連	普通・当座	普通

提出期限 令和5年1月末日（必着）

【領収書のコピー添付欄】

領 収 書

¥ \_\_\_\_\_ 円  
但し、.....

令和 年 月 日

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

領 収 書

¥ \_\_\_\_\_ 円  
但し、.....

令和 年 月 日

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

領 収 書

¥ \_\_\_\_\_ 円  
但し、.....

令和 年 月 日

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*



# 日本木材青壮年団体連合会

〒135-0041 東京都江東区冬木6-14 飯沼ビル102

<http://www.mokuseiren.jp>

令和4年5月吉日

御中

日本木材青壮年団体連合会  
会 長 川 井 博 貴  
木材活用委員会担当副会長 砂 田 雄太郎  
木材活用委員会委員長 渡 辺 健 人

## 日本木材青壮年団体連合会 第26回木材活用コンクール 賛助金によるご協賛のお願い

謹啓 平素は当会の運営にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私ども日本木材青壮年団体連合会は、このたび令和4年度に第26回木材活用コンクールを主催するにあたり、当コンクールへのご協賛をいただける方（企業・団体・個人）を募集いたします。

当コンクールは、農林水産省、国土交通省、（公財）日本住宅・木材技術センター、（一社）全国木材組合連合会、（公社）日本建築家協会、（一社）日本建築学会、（一社）日本インテリアプランナー協会、（公財）日本デザイン振興会、（公社）日本建築士連合会、（一社）日本建築士事務所協会連合会の後援を受け、木材の新しい用途の普及と木材利用の拡大を図るために全国規模で開催しているものであり、例年数百件にのぼる応募作品があります。

当コンクールの趣旨は、木材の利用を広め、豊かな暮らしや社会の実現に寄与することにあります。伝統的な素材である木材は、四季の変化に富む日本の風土に適した材料として古くから私達の生活に密接しており、地球環境の保全や健康的で心地よい生活環境をつくり出す一助として大きく寄与しております。このような日本の自然が育んだこの素晴らしい木材の良さを、当コンクールを通じて多くの人々に知っていただく端緒となれば幸いと願っている次第です。

木の素材としての素晴らしさに共感していただける、もしくは環境保全に積極的に取り組んで居られる皆様におかれましては、当コンクールの趣旨にご賛同をいただき、ご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

記

- 協 賛 金 1口 2万円以上
- お申込方法 別紙の「協賛申込書」に必要事項をご記入の上、**FAXにて**お申込み願います。
- 問合せ先 日本木材青壮年団体連合会 木材活用委員会 委員長 渡辺 健人  
Tel 03-3521-6121（高広木材㈱内） 携帯 070-2637-2760  
E-mail : kento@takahiro-mokuzai.co.jp
- お申込先 日本木材青壮年団体連合会 事務局 Fax 03-5620-4809
- その他 ご協賛いただきましたご芳名（企業名、団体名、個人名）は、当コンクールの表彰式を行う日本木材青壮年団体連合会第68回全国会員高知大会の記念誌に明記させて頂くと共に、全国約800名の会員広報誌である「ウッドレター」へ企業名の掲載をさせていただきます。

以上

# 日本木材青壮年団体連合会

## 第26回 木材活用コンクール 協賛申込書

コンクールの趣旨に賛同し、下記の通り協賛いたします。

**FAX (03) 5620-4809**

日本木材青壮年団体連合会 事務局 宛

令和 年 月 日

◆ 申込者

(住所又は所在地)

(名称)

(代表者名)

◆ 連絡先 (請求書送付先)

(担当部署名)

(担当者氏名)

(電話番号)

(FAX)

◆ 金額

金

円

(1口 2万円 ×

口)

◆ 反社会的勢力排除に関するご確認

下記内容についてお約束頂ける方は、□内に✓をご記入ください。

(当社、当団体、私)は反社会的勢力に関係していない事をここに誓約いたします。

◇ お手数ですが、申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

◇ お申込みを受付ましたら、上記の連絡先 (請求書送付先) に請求書を送付させていただきます。

# 部会各種承認願

( 新規 ・ 更新 ・ 変更 ・ 休止 ・ 廃止 )

提出日：令和4年3月5日

提出者	役職名	会長補佐	氏名	谷地 謙
部会名称	社団法人化協議特別部会			
活動内容 (主旨)	任意団体では解決できない課題を解決し、また継続的に次代の木材業界をリードしていく人財を育成し、木材業界の新たな価値創造をしていく事を目的とし、次年度以降も社団法人化取得に向けた議論を継続的に行う。			
経緯	<p>当会が設立されて65年を迎えようとする現在、任意団体としての活動では各事業をおこなう際に活動の制約がなされる部分があったり、すべての責任が会長個人へ帰結することであったり、全国規模の団体としてのスケールメリットを十分に生かしきれていないことなど改題が多くあります。</p> <p>また、昨年4月からの法人化の議論を通じて、多くの方々より、決議を諮るにはより詳しい情報と、検証を行うことが必要との意見が出ております。</p>			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地区協議会や会員会団等への出向いての説明会の開催</li><li>・ コンプライアンスに則った諸規定等の編集・作成</li><li>・ その他必要な活動</li></ul>			
代表者	亀山武弘（宮城県会団）			
部会メンバー	代表者による指名を受けた者で10名程度とする。			
対象者	日本木青連現役会員			

日本木材青壮年団体連合会



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## 第26回 木材活用コンクール

主催: 日本木材青壮年団体連合会

後援: 農林水産省、国土交通省、公益財団法人日本住宅・木材技術センター

一般社団法人 全国木材組合連合会、公益社団法人 日本建築家協会、一般社団法人 日本建築学会

一般社団法人 日本インテリアプランナー協会、公益財団法人 日本デザイン振興会

公益社団法人 日本建築士会連合会、一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

### (案) 募 集 要 項

#### 趣 旨

日本は世界有数の森林国であり、国土の7割が森林です。そこから生み出される木材は、古の時代から四季の変化に富む日本の風土に適した材料として生活に密接しており、生活空間の中には常に木との触れ合いがありました。そして長い間木材を有効に活用してきたことで、我が国には多種多様な木の文化が育まれました。また森林には、湧水や洪水を緩和し良質な水を育む水源のかん養機能、山地災害の防止機能、二酸化炭素の吸収・貯蔵や騒音・飛砂防止などの生活環境保全機能等、多面的な機能があります。再生産可能な資源である木材を上手く利用し、森を循環させることで豊かな自然環境を守るという先人から受け継いだ伝統と文化を次世代に繋いでいくことが必要だと考えます。

当コンクールは木材の新たな利用、普及の可能性をさぐり、木材業界の活性化に寄与することを目的として平成9年に創設され、本年で第26回目を迎えます。

木材自給率の向上を目的とする「公共建築物等木材利用促進法」が施工されてから11年が経過し、全国各地で数多くの木造建築物が建てられるようになりました。新しい木質材料や技術工法も次々と開発され、また木造建築における法制度の緩和等が進み、さらなる普及が期待されています。

日本木材青壮年団体連合会は、令和4年度スローガンとして「ともに」～同志と共に築く未来へ繋ぐ木青連の輪～を掲げ、様々な啓発活動を行っております。木の伝統と文化を次世代へ繋ぐため「木の良さ」を活かした作品や、従来にはない新しい木材の利用や見せ方、工法などを用いた「木材の新たな可能性」を追求する作品を、4つの部門を設けて募集し、木材の良しの普及と木材の利用用途の拡大に貢献する優秀な作品を表彰いたします。全国各地から沢山のご応募をお待ちしております。

#### 1. 募 集 部 門

第1部門	木造及び混構造建築(構造物)300㎡超え	第4部門	クリエイティブユース(1～3部門以外の創造的木材活用事例<ランドスケープ・インスタレーション・家具・木製品など>)
第2部門	木造及び混構造建築(構造物)300㎡以下		
第3部門	木質空間(インテリア・エクステリアの木質化)		

※第1部門と第2部門の基準となる面積は「延床面積」です

※「一般住宅」は第2部門で応募ください

#### 2. 審 査 基 準

応募される資料を対象に、下記の項目を考慮して審査いたします。

- 木の良さが活かされているもの。
- 木材の新しい用途の普及に寄与するもの。
- 建築物の木造化、木質化に波及効果があるもの。
- 木材の利用を通じて豊かな暮らしや社会を実現するもの。
- 木材の地球環境貢献効果が情報発信されているもの。
- SDGsの考えに則っているもの。

### 3. 応募条件

(第1部門～第3部門) 建設・設置地域は国内とし、平成31年1月1日から令和4年末までに完成したもの。

(第4部門) 令和4年末までにユーザーが購入または利用できるもの。

### 4. 応募資格

応募物件の設計者、施工者、建築主、またそれらの合同。及び応募作品のデザイン事業者、生産者、販売者。ただし、相互に了解を得ていること。また、連名での応募も可能です。

### 5. 審査委員会

審査委員長	深尾 精一	首都大学東京(現東京都立大学)名誉教授
審査委員	有馬 孝禮	東京大学 名誉教授
	加藤 昌之	株式会社 加藤設計 代表取締役
	古久保 英嗣	公益財団法人 日本住宅・木材技術センター 理事長
	霜野 隆	一般社団法人 日本インテリアプランナー協会 顧問
	松井 郁夫	株式会社 松井郁夫建築設計事務所 代表取締役
	藤田 香織	東京大学大学院 教授
	土居 隆行	林野庁 木材産業課 木材製品技術室長
	前田 亮	国土交通省 住宅局 住宅生産課 木造住宅振興室長
	川井 博貴	日本木材青壮年団体連合会 会長
	砂田 雄太郎	日本木材青壮年団体連合会 副会長

### 6. 表彰

- 最優秀賞 2作品 農林水産大臣賞 国土交通大臣賞
- 優秀賞 5作品 林野庁長官賞  
公益財団法人日本住宅・木材技術センター理事長賞、一般社団法人全国木材組合連合会会長賞  
一般社団法人日本インテリアプランナー協会賞、日本木材青壮年団体連合会会長賞
- 特別賞 1作品 木材共生賞
- その他に、部門賞数点、木材活用賞などを加え、約20点を予定。又、日本木材青壮年団体連合会会員賞として「木質開拓賞」を選定いたします。
- 受賞者には各賞とも賞状を授与します。

### 7. 注意事項

- 応募作品は返却できませんので、あらかじめご了承ください。
- 第三者の著作権、工業所有権、知的財産権を侵害すると判断されたものは、受賞結果発表後でも受賞を取り消すことがあります。
- 応募作品の発表に関する権利は主催者側が保有します。(但し、当コンクールが継続的に開催されている場合に限りです。)
- 応募者の個人情報、厳重に管理し、運営上の連絡や資料等の発送のためのみに利用します。
- 応募書類の仕様書審査については応募内容が真正なことを前提に行います。
- 受賞作品の所在地を作品広報のために木材活用コンクール公式サイト(<https://mokusei.net/mkc/>)に掲載させていただきます。(なお、一般住宅や、所在地を公表する事で個人のプライバシーを侵害する可能性のある作品の所在地掲載はいたしません。)
- 応募作品について、「日本木青連 木づかい CO<sub>2</sub>固定量 勝手に認証プロジェクト」(<https://www.mokuseiren.jp/co2/>)によるCO<sub>2</sub>固定量計算を行い、同ページ上にて公開することがあります。※対象作品は主催者側にて選定いたします。

### お問合せ先

日本木材青壮年団体連合会 木材活用コンクール事務局 担当 木材活用委員長 渡辺 健人  
〒135-0041 東京都江東区冬木6-14 飯沼ビル102  
Tel 03-5620-4806 Fax 03-5620-4809 Eメール: mkc@mokusei.net



## 応募について

### <応募方法>

日本木材青壮年団体連合会ホームページ内、木材活用コンクール公式サイト(<https://www.mokusei.net/mkc>)から応募してください。

### <手順>

#### I. 事前準備

応募登録を始める前に上記木材活用コンクール公式サイトからダウンロードした「応募用紙」(Excel)に必要な事項を記入したファイルと「作品データ」(PDF)を用意してください。

■「応募用紙」(Excel ファイル)について:

- ・所定の申込み専用紙をダウンロードしていただき、必要事項を記入したものとします。
- ・応募用紙の記入については、記入例をご参照ください。

■「作品データ」(PDF ファイル)について:

- ・自由フォーマットとしますが、作品名称、図面(建築物の場合は平面図、断面図を必ず載せてください)、写真、主旨説明文(600字以内)を、A2サイズ(420mm×594mm、横置き)1枚に構成したものとします。
- ・データ容量は10Mバイト以内とします。

※PDFファイルはパソコンでの予備審査、及びプロジェクターでの最終審査に使用します。

※PDFデータ作製にあたり、必ず、画面の拡大・縮小を行なっても文字データが読める形式で作製をお願いします。

※使用木材について、できるだけ詳しく記載してください(材種、寸法、JAS製品、合法木材、地域認証材など)。

※審査の公平を期すため、作品データ内、応募用紙の主旨説明文等に応募者が特定できる情報の記載はご遠慮ください。

Ex)社名、屋号、ロゴ等

#### II. 応募登録

上記木材活用コンクールのページから「応募登録ページへ」をクリックし、「応募登録」ページへ移動してください。「応募登録」ページにて必要事項を入力し、「応募用紙」(Excel)及び「作品データ」(PDF)をアップロード後、「確認」ボタンをクリックしてください。

正常に登録完了すると、「応募情報受付画面」が表示されます。以上で応募登録は完了です。

※登録を中止する場合は、【キャンセル】ボタンをクリックし、登録作業を中止してウィンドウを閉じてください。

#### III. 登録受付通知メール

応募登録が完了すると、ご登録いただいたメールアドレス宛に登録通知メールが届きます。

※応募受付通知メールが届かない場合は、お手数ですが事務局にお問い合わせください。

※応募受付メールは重要ですので削除せず大切に保管してください。

#### IV. 応募者専用ページについて

登録受付通知メールに記載されていた応募者専用ページにアクセスし、ID、パスワードを入力してログインします。ここでは応募登録いただいた内容の確認や修正が可能です。※変更できない項目もあります。

#### ● 募集期間 令和4年12月1日～令和5年1月15日

※1月15日当日送信まで有効

### <結果発表>

- 日本木材青壮年団体連合会ホームページ内 木材活用コンクール 公式サイト(<https://www.mokusei.net/mkc>)
- 日本木材青壮年団体連合会 WEB 広報誌「ウッドイレター」
- 各種建築住宅雑誌掲載(予定)
- その他

### <表彰式>

- 表彰式は、令和5年6月3日(土)日本木材青壮年団体連合会 第68回全国会員高知大会にて行います。

※受賞者には詳細を令和5年4月中旬までにお知らせします。

※受賞作品は事務局で印刷しA2サイズのパネルを作成します。

ただし、データ解像度の内容によっては、新たに印刷用のデータを提出していただく場合もございます。

※今後の新型コロナウイルス感染症問題の動向によっては『表彰式を中止』させて頂く場合がございます。予めご了承ください。



「木の良さ」活かした作品募集します。



# 木材活用 コンクール

第26回

主催 | 日本木材青年団体連合会

後援 | 国土交通省 農林水産省 一般社団法人全国木材組合連合会 一般社団法人日本インテリアプランナー協会 一般社団法人日本建築学 一般社団法人日本建築士事務所協会連合会 公益財団法人日本デザイン振興会 公益財団法人日本住宅・木材技術センター 公益社団法人日本建築家協会 公益社団法人日本建築士会連合会

協賛 | 一般社団法人JBN・全国工務店協会 JKホールディングス株式会社



左: 第26回木材活用コンクール 国土交通大臣賞 [HULIC & New GINZA8]

右上: 同 農林水産大臣賞 [流山市立おおくろの森小学校] 右中: 同 木青連会長賞 [相模学園大学]

右下: 同 日本住宅・木材技術センター理事長賞 [Ueta LABO]

## 募集部門

第1部門 木造及び混構造建築(構造物) 300㎡超え

第2部門 木造及び混構造建築(構造物) 300㎡以下

第3部門 木質空間(インテリア・エクステリアの木質化)

第4部門 クリエイティブユース(1~3部門以外の創造的木材活用事例  
(ランドスケープ・インスタレーション・家具・木製品など))

※第1部門と第2部門の区分基準となる面積は「延床面積」です ※「一般住宅」は第2部門で応募ください

## 応募条件

・第1部門～第3部門

建設・設置地域は国内とし、平成31年1月1日から令和4年末までに完成したもの

・第4部門

令和4年末までにユーザーが購入または利用できるもの

## 審査委員会 (敬称略)

審査委員長

深尾 精一 首都大学東京(現 東京都立大学)名誉教授

審査委員

有馬 孝禮 東京大学 名誉教授  
加藤 昌之 株式会社 加藤設計 代表取締役  
古久保 英嗣 公益財団法人 日本住宅・木材技術センター 理事長  
霜野 隆 一般社団法人 日本インテリアプランナー協会 顧問  
松井 郁夫 株式会社 松井郁夫建築設計事務所 代表取締役  
藤田 香織 東京大学大学院 教授  
土居 隆行 林野庁 木材産業課 木材製品技術室長  
前田 亮 国土交通省 住宅局 住宅生産課 木造住宅振興室長  
川井 博貴 日本木材青壮年団体連合会 会長  
砂田 雄太郎 日本木材青壮年団体連合会 副会長

## 審査基準

応募される資料を対象に、下記の項目を考慮して判定します

- ・木の良さが活かされているもの
- ・木材の新しい用途の普及に寄与するもの
- ・建築物の木造化、木質化に波及効果があるもの
- ・木材の利用を通じて豊かな暮らしや社会を実現するもの
- ・木材の地球環境貢献効果が情報発信されているもの

## 応募資格

応募物件の設計者、施工者、建築主、またそれらの合同。及び応募作品のデザイン事業者、生産者、販売者。ただし、相互に了解を得ていること。また、連名での応募も可能です。

## 表彰

最優秀賞(2作品) 農林水産大臣賞 国土交通大臣賞

優秀賞(5作品) 林野庁長官賞、公益財団法人日本住宅・木材技術センター理事長賞、一般社団法人全国木材組合連合会会長賞、一般社団法人日本インテリアプランナー協会賞、日本木材青壮年団体連合会会長賞

特別賞(1作品) 木材共生賞

・部門賞数点、木材活用賞、日本木材青壮年団体連合会会員賞などを加え、約20点を予定しています。・受賞者には各賞とも賞状を授与します。

**注意事項** 応募作品は返却できませんので、あらかじめご了承ください。第三者の著作権、工業所有権、知的財産権を侵害すると判断されたものは、受賞結果発表後であっても受賞を取り消すことがあります。応募作品の発表に関する権利は主催者側が保有します。応募者の個人情報は、厳重に管理し、運営上の連絡や資料等の発送のために利用します。応募書類の仕様審査については応募内容が真実であることを前提に行います。受賞作品の所在地を作品広報のために木材活用コンクール公式サイト(<http://www.mokusei.net/mkc/>)に掲載させていただきます(なお、一般住宅や、所在地を公表する事で個人のプライバシーを侵害する可能性のある作品の所在地掲載はいたしません)。応募作品について、「日本木青連 木づかいCO2固定量 勝手に認証プロジェクト」(<https://www.mokuseiren.jp/co2/>)によるCO2固定量計算を行い、同ページ上にて公開することがあります。※対象作品は主催者側にて選定いたします

## 応募方法

日本木材青壮年団体連合会ホームページ内、木材活用コンクール公式サイト(<https://mokusei.net/mkc/>)から応募してください。

<手順>

(1) 事前準備

・応募登録を始める前に上記木材活用コンクール公式サイトからダウンロードした「応募用紙」(Excel)に必要事項を記入したファイルと「作品データ」(PDF)を用意してください。

■「応募用紙」(Excel ファイル)について

・所定の申込み専用紙をダウンロードしていただき、必要事項を記入したものとします。

・応募用紙の記入については、記入例ご参照ください。

■「作品データ」(PDF ファイル)について

・自由フォーマットとしますが、作品名称、図面(建築物の場合は平面図、断面図を必ず載せてください)、写真、主旨説明文(600字以内)を、A2サイズ(420mm×594mm、横置き)1枚に構成したものとします。・データ容量は10Mバイト以内とします。

※PDFファイルはパソコンでの予備審査、及びプロジェクターでの最終審査に使用します。※PDFデータ作製にあたり、必ず、画面の拡大・縮小を行っても文字データが読める形式で作製をお願いします。※使用木材について、できるだけ詳しく記載してください。(材種、寸法、JAS製品、合法木材、地域認証材など)※審査の公平を期すため、作品データ内、応募用紙の主旨説明文等に応募者が特定できる情報の記載はご遠慮ください。Ex)社名、屋号、ロゴ等

(2) 応募登録

上記木材活用コンクールのページから「応募登録ページへ」をクリックし、「応募登録」ページへ移動してください。「応募登録」ページにて必要事項を入力し、「応募用紙」(Excel)及び「作品データ」(PDF)をアップロード後、「確認」ボタンをクリックしてください。正常に登録完了すると、「応募情報受付画面」が表示されます。以上で応募登録は完了です。

※登録を中止する場合は、【キャンセル】ボタンをクリックし、登録作業を中止してウィンドウを閉じてください。

(3) 登録受付通知メール

応募登録が完了すると、ご登録いただいたメールアドレス宛に登録通知メールが届きます。

※登録受付通知メールが届かない場合は、お手数ですが事務局にお問い合わせください。

※登録受付メールは重要ですので削除せず大切に保管してください。

(4) 応募者専用ページについて

登録受付通知メールに記載されていた応募者専用ページにアクセスし、ID、パスワードを入力してログインします。ここでは登録いただいた内容の確認や修正が可能です。

※変更できない項目もあります。

**募集期間** ※1月15日当日送信まで有効

**令和4年12月1日～令和5年1月15日**

## 結果発表

- ・木材活用コンクール 公式サイト <https://mokusei.net/mkc/>
- ・日本木材青壮年団体連合会 WEB広報誌「ウッドレター」
- ・各種建築住宅雑誌掲載(予定) ・その他

## 表彰式

表彰式は、令和4年5月28日(土) 日本木材青壮年団体連合会 第67回全国会員北海道大会にて行います。

※受賞者には詳細を令和4年4月中旬までにお知らせします。※受賞作品は事務局で印刷しA2サイズのパネルを作成します。ただし、データ解像度の内容によっては、新たに印刷用のデータを提出していただく場合もございます。※今後の新型コロナウイルス感染症問題の動向によっては『表彰式を中止』させて頂く場合がございます。予めご了承ください。



**日本木材青壮年団体連合会 木材活用コンクール事務局** 担当：木材活用委員長 渡辺 健人

〒135-0041 東京都江東区冬木6-14 飯沼ビル102 TEL：03(5620)4806 FAX：03(5620)4809 MAIL：mkc@mokusei.net

計画議案書

会議開催日： 令和4年 5 月 27 日

協議	審議	予算書	担当副会長	専務	総務委員長
○	○	有	寺見	寺見	佐藤

委員会名(役職名)	全国大会実行委員会	SDGs 対象目標番号
委員長名(氏名)	笹岡 輝久	
担当副会長名	寺見 良太	

議案名 (事業名称)	登録料 及び 予算書
---------------	------------

外部協力者 協力の種類	第 68 回全国会員高知大会開催時の講演者及び関係団体
----------------	-----------------------------

主旨 ※背景・目的を簡潔 に記載してください	<p>【背景】全国会員大会は日ごろの活動の成果を発表しあうとともに会員相互の親睦と啓発を目的として毎年開催されています。本年度も過去から未来へと続く日本木青連活動の 1 つの節目として開催します。</p> <p>【目的】全国会員高知大会は令和 4 年度の集大成として本年度実施した事業・活動の成果を全国の会員や参加者に発表する。また大会 PR を全国各地で行い、大会当日には各地区・会団の交流ならびに各会員の交流を通じて木材業界の発展と活性化を図る。</p>
------------------------------	---

事業概要 ※場所・参加員数計 画・実施組織・目的 達成のための手法・ 事業実施までのスケ ジュール等なるべく 詳細に記載してくだ さい	日時	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 6 月 3 日(全国大会予定日)
	<p>令和 4 年度の集大成の場として高知県高知市にて今年度の各委員会の事業成果の発表や、各種コンクールの表彰を行うとともに、会員同士の交流の場・相互の啓発につながる大会作りを目指します。</p> <p>□大会スローガン ～時は今こそ木材の新時代「ともに」みんなで木材界の明日を拓こうぜよ！～</p> <p>□大会開催予定日 ・理事会、前夜祭 2023 年 6 月 2 日(金) ・式典、大懇親会 2023 年 6 月 3 日(土)</p> <p>□大会開催予定地 ・理事会、前夜祭 ホテル日航旭ロイヤル(高知市) ・式典 高知県立県民文化ホール(高知市) ・大懇親会 ザ・クラウンパレス新阪急高知(高知市)</p> <p>□各登録料 ・前夜祭登録料 12,000 円 ・大会登録料 15,000 円 ・WEB 登録 5,000 円(WEB 併催となった場合)</p>	

	* 予算書へ      * 参考資料へ	
<p>協議のポイント</p> <p>※特に協議や意見が欲しいことについて箇条書きにて記載してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前夜祭登録料および大会登録料について</li> <li>・予算について</li> </ul>	
<p>前回までの意見と対応</p>	日付	要旨

審議事項

## 事業予算書

会議開催日： 令和4年5月27日

委員会名(役職名)	全国大会実行委員会
議案名 (事業名称)	第68回全国会員高知大会 登録料及び予算書

## 〔収入明細書〕

科目	摘要	金額
事業費繰入金	一般会計事業「全国大会実行委員会」予算より	¥ 1,000,000
前夜祭登録料	12,000円 × 200名	¥ 2,400,000
大会登録料	15,000円 × 250名	¥ 3,750,000
WEB登録料	5,000円 × 250名	¥ 1,250,000
広告協賛費		¥ 6,000,000
収入合計(A)		¥ 14,400,000

## 〔支出明細書〕

科目	摘要(支出先)	金額
委員会活動費	委員会活動・大会PR活動費	¥ 1,000,000
各種会場費用	理事会・常任理事会・総会等	¥ 1,500,000
前夜祭費用	会場・飲食・アトラクション等	¥ 2,000,000
式典費用	式典会場・展示会場・講演会等	¥ 3,500,000
大懇親会費用	会場・飲食・アトラクション等	¥ 2,000,000
広告費	大会記念誌・PR動画等	¥ 3,000,000
総務費		¥ 1,100,000
予備費		¥ 300,000
支出合計(B)		¥ 14,400,000

差額(A) - (B)	¥ -
-------------	-----

審議事項

## 事業予算書

会議開催日： 令和4年5月27日

委員会名(役職名)	全国大会実行委員会
議案名 (事業名称)	第68回全国会員高知大会 登録料及び予算書

## 〔収入明細書〕

科目	摘要	金額
事業費繰入金	一般会計事業「全国大会実行委員会」予算より	¥ 1,000,000
前夜祭登録料	12,000円×250名	¥ 2,400,000
大会登録料	15,000円×500名	¥ 7,500,000
広告協賛費		¥ 6,000,000
収入合計(A)		¥ 16,900,000

## 〔支出明細書〕

科目	摘要(支出先)	金額
委員会活動費	委員会活動・大会PR活動費	¥ 1,000,000
各種会場費用	理事会・常任理事会・総会等	¥ 1,500,000
前夜祭費用	会場・飲食・アトラクション等	¥ 2,000,000
式典費用	式典会場・展示会場・講演会等	¥ 3,500,000
大懇親会費用	会場・飲食・アトラクション等	¥ 4,000,000
広告費	大会記念誌・PR動画等	¥ 3,000,000
総務費		¥ 1,400,000
予備費		¥ 500,000
支出合計(B)		¥ 16,900,000

差額(A) - (B)	¥ -
-------------	-----

審議事項

日本木材青壮年団体連合会

第 68 回全国会員高知大会 大会スローガン趣意書

【大会スローガン】

時は今こそ木材の新時代

「ともに」 みんなで木材界の明日を拓こうぜよ！

高知県は太平洋に面しており海の国のイメージが強いですが、県の面積に対する森林率は 84%で全国トップ、人工林率も 65%で全国 2 位と森の国でもあります。このような林産地から今回で 68 回目になる全国会員大会を開催でき、木材界の明日を発信できることを大変有意義に感じております。

今年度の川井会長のスローガン、「ともに」から上記のような大会スローガンにさせて頂きました。郷土の幕末の志士、坂本龍馬が理想の未来を描き、時代を切り拓いたように、ここ高知で会員の皆様と共に業界を想い、木材を語り、将来へ繋げていけるような大会にしたいと考えております。

高知では初の開催ということもありますが中四国地区会員が一丸となり準備を進め、令和 4 年度の委員会が実施してきた事業活動の成果発表、各種コンクールの表彰式を開催するとともに、全国の会員の皆様と交流を深め、令和 4 年度集大成の大会にしたいと思っております。

令和 4 年度大会実行委員会  
委員長 笹岡 輝久



## 趣 意 書

### □日本木材青壮年団体連合会（日本木青連）

日本全国の林業・木材業界の青年経営者及び従事者で組織してます日本木材青壮年団体連合会（以下、日本木青連）は昭和31年度に発足し、北は北海道より南は沖縄まで全国を8つのブロックとして45会団からなる全国組織であります。

業界内外との交流と親睦を通じ、相互の啓発、知識、品位の向上を計り、合わせて林業・木材業に関する社会的な普及啓発活動などを行うことによって木材産業の近代化と社会に貢献することを目的とする団体で、令和4年度は約800名の会員で構成されております。

また、令和4年度のスローガンを『「ともに」～同志と共に築く未来へ繋ぐ木青連の輪～』とし、各会員間だけでなく、各地区や各委員会、木材業界全体の連携を強化し、新しいことに挑戦し、木青連の輪を広げていく活動に取り組みます。

### \*日本木青連 顧問

元衆議院議長

大島 理森氏

(公財)日本住宅・木材技術センター理事長 古久保 英嗣氏

東京大学名誉教授

有馬 孝禮氏

### □日本木青連 全国会員高知大会

上記8ブロックにおける日本木青連のブロックの1つとして日本木青連中四国地区協議会があります。

この度、第68回日本木青連全国会員高知大会は6月2日（金）～3日（土）に高知県高知市で開催されることになり、中四国地区協議会が主管し、高知県青年林材協会が副主管する運びとなりました。この大会を全国の会員が一堂に会して明日の業界を語り、業界振興・業界発展・木材需要拡大への効果的な話し合いの場として一歩でも前進するべく、また木材の利活用を通じて社会貢献へ寄与できるような場にすべく準備を進めている次第です。

今大会は参加人員500余人を予定し、『～時は今こそ木材の新時代「ともに」みんなで木材界の明日を拓こうぜよ！～』を大会スローガンに実施してきた事業・活動の成果を全国の会員や参加者と共有し、会員相互の連携と啓発をより深化させ、式典及び記念講演を中心に活気溢れる大会を目指しております。

この大会期間に前後して、今大会参加及び地元企業訪問・観光等、県外より多くの方が来県されることで地域振興にも多くの効果が期待されます。つきましては本大会主旨へのご理解を頂き、開催に際し諸事情をご賢察賜りまして、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本木材青壮年団体連合会

令和4年度会長 川井 博貴

日本木材青壮年団体連合会 HP <http://www.mokuseiren.jp/>



## 大会概要

- 大会名称 日本木材青壮年団体連合会  
第68回全国会員高知大会
- 大会期日 令和5年6月2日（金）から  
令和5年6月3日（土）まで
- 開催場所 各理事会等：ホテル日航旭ロイヤル  
大会式典：高知県立県民文化ホール
- 主催機関 日本木材青壮年団体連合会  
令和4年度会長 川井 博貴
- 主管機関 日本木材青壮年団体連合会 中四国地区協議会  
令和4年度会長 田丸 昌平
- 副主管機関 高知県青年林材協会  
令和4年度会長 大原 悠延
- 大会実施担当主体 日本木材青壮年団体連合会 全国大会実行委員会  
令和4年度委員長 笹岡 輝久
- 大会スケジュール（予定） 6月2日（金）於 ホテル日航旭ロイヤル  
9:30～11:00 令和5年度常任理事会  
11:30～12:00 令和4年度常任理事会  
12:30～13:30 令和4年度理事会  
13:45～15:45 令和5年度理事会  
16:00～16:30 第134回通常総会  
17:00～18:00 各委員会
- 6月3日（土）於 高知県立県民文化ホール  
11:30～13:30 大会受付  
13:30～16:00 大会式典  
16:15～17:30 記念講演

## 計画議案書

会議開催日： 令和4年 5月 27日

協議	審議	予算書	会長補佐	専務	総務委員長
○	○	無	三渡	寺見	佐藤

事業名	日本木青連意見集約事業	SDGs 対象目標番号
委員長名(氏名)	三渡保典	
担当副会長名	中岡昌三	

議案名 (事業名称)	日本木青連意見集約事業
---------------	-------------

外部協力者 協力の種類	林野庁 木材利用班など
----------------	-------------

主旨	<p>【背景】木青連には約 800 名の会員が在籍しています。木材業界において会員数の多い木青連は様々な知識や情報が集約でき、スケールメリットを得ることができます。しかし、会員の多くはそのメリットを活かしきれていないのも現状であります。(会長所信より抜粋)</p> <p>日本木青連役員・地区役員・各地会員ごとに参加意識の差があるという仮説をたて、要因を探ることで課題と対策を立てる必要がある。</p> <p>【目的】会員の参加意識の向上を図り、将来への提言をすることで、木材業界のさらなる発展を促し、より良い社会を建設すること。</p>
----	---

事業概要	日時	令和4年4月1日～令和5年3月31日
	<p>Google フォームにて一斉アンケート調査を行い分析し、下記3点を作成、提出する。</p> <p>イ) 会員の参加意識向上のための施策提言書。(日木・地区・会団)</p> <p>ロ) 将来日本木青連で行うべき事業等の提言書。(日木)</p> <p>ハ) 会員拡大施策の提言書。(日木・地区・会団)</p> <p>タイムスケジュール</p> <p>(P)4月8日常任理事会 4月16日理事会:設問作成の為の意見集約(地区長・会団長より)</p> <p>(D)5月末: <b>アンケート設問(案)をまとめる。林野庁との意見交換。</b></p> <p>(C)9月17日理事会:アンケート設問審議承認のちアンケート実施、統計分析、取りまとめ。</p> <p>(A)10月末: 上記施策提言書(案)をまとめる。 1月14日理事会:審議承認。 3月14日理事会:フィードバック講習(対象者:次年度常任理事・理事)及び資料送付並びに木青ネットアップ。</p> <p>※ポイント① <b>アンケート設問(案)、施策提言(案)をあえて理事会審議対象にする</b>ことで、正式な日本木青連の資料となり、閲覧者がより参考にし易い提言書とする。</p>	

	<p>※ポイント②</p> <p>・提言書は単年度制である日本木青連や地区協議会、会団が年度ごとに事業構築する際、背景などを考察するための統計上の根拠であって、個別具体的な施策をあげて押し付けるものではない。主体的(〇〇だろう的)な事業構築から、客観的(〇〇だから)な事業構築をしてもらうための資料と位置付ける。</p> <p>* 予算書なし * 参考資料なし</p>															
<p>協議のポイント</p> <p>※特に協議や意見が欲しいことについて箇条書きにて記載してください</p>	<p>①本事業計画書は3月理事予定者会議にて承認されたので、今回は参考資料として掲載する。</p> <p>②常任理事経験者・理事経験者・その他会員に対して3種類のアンケートを用意しました。理由は複雑かつ長文化しないことで、記入しやすく、分析しやすくするため。また、段階に応じた個別の設問があるからです。</p> <p>③上記3つの提言書を作るためのアンケートです。趣旨に合ってるか、また、追記すべき設問などがないか、協議ですので忌憚のない意見を頂きたい。</p>															
<p>前回までの意見と対応</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="368 891 576 954">日付</th> <th data-bbox="576 891 1513 954">要旨</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="368 954 576 1050">2022/01/15 第2回常任理事予定者会議</td> <td data-bbox="576 954 1513 1050">意見 1:アンケートについては理事会審議いららないのでは? 対応 1:より広くご意見が頂きたいのと、アンケートが提言書の根拠となるので審議対象としたい。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1050 576 1146">2022/01/15 第2回常任理事予定者会議</td> <td data-bbox="576 1050 1513 1146">意見 2:施策提言書を義務化すると例年社会情勢が変わる中で柔軟な事業が出来なくなるのでは? 対応 2:ポイント②を追加しました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1146 576 1223">'2022/02/25 第3回常任理事予定者会議</td> <td data-bbox="576 1146 1513 1223">意見 特になし。質問のみ。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1223 576 1296"></td> <td data-bbox="576 1223 1513 1296"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1296 576 1370"></td> <td data-bbox="576 1296 1513 1370"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 1370 576 1406"></td> <td data-bbox="576 1370 1513 1406"></td> </tr> </tbody> </table>	日付	要旨	2022/01/15 第2回常任理事予定者会議	意見 1:アンケートについては理事会審議いららないのでは? 対応 1:より広くご意見が頂きたいのと、アンケートが提言書の根拠となるので審議対象としたい。	2022/01/15 第2回常任理事予定者会議	意見 2:施策提言書を義務化すると例年社会情勢が変わる中で柔軟な事業が出来なくなるのでは? 対応 2:ポイント②を追加しました。	'2022/02/25 第3回常任理事予定者会議	意見 特になし。質問のみ。							
日付	要旨															
2022/01/15 第2回常任理事予定者会議	意見 1:アンケートについては理事会審議いららないのでは? 対応 1:より広くご意見が頂きたいのと、アンケートが提言書の根拠となるので審議対象としたい。															
2022/01/15 第2回常任理事予定者会議	意見 2:施策提言書を義務化すると例年社会情勢が変わる中で柔軟な事業が出来なくなるのでは? 対応 2:ポイント②を追加しました。															
'2022/02/25 第3回常任理事予定者会議	意見 特になし。質問のみ。															

審議事項

令和 4 年度  
木材PR事業  
趣意書



長野県木材青壮年団体連合会

関係各位様

## 令和4年度 木材PR趣意書

昨今、再生可能な生物資源である木材の活用が見直され、「木を大切に育てる時代」から「木を使う時代」へと移りつつあり、多くの人たちが木の有効活用に注目し、これまで木造化が進まなかった公共建築物等をはじめ非住宅分野の木造化など、新たな木材需要を創出する可能性が出てきています。

また、近年先進国や日本が積極的に取り組んでいます、SDGs（持続可能な開発目標）は、国連サミットにおいて採択され、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。その中でも森林分野ではSDGsの17の目標のうち、14の目標の達成に貢献できるといわれており、「森林づくり・木づかい」の活動はまさに持続可能性に大きな影響力を持っていることがわかります。

そんな木への注目が高まる中、新型コロナウイルス感染症の影響で、世界規模で人・物の動きが止まり、経済活動が大きく落ち込む厳しい一年となり、各種イベントによる木工教室等の活動方法を模索しながらの状況となりました。

そこで、我々長野県木青連は地球環境という視点から再生可能な資源である木の有効利用の大切さを「木づかいの心」として子供から大人までおおくの方々にPR活動を通し伝えていきたいと思えます。未だに、「木の利用」＝「木の伐採」＝「環境破壊」という図式を信じている人たちが多くも事実です。正しい考え方を正しく伝え、「木づかいの心」を多くの方に発信し、地球環境の保全と木材の有効利用をPRしていきたいと思えます。

木材業界に携わる全ての方々とともに、業界の次世代を担う若者として会員一同、不屈の精神と英知を結集して、木材PRに努めたいと思えます。何卒、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

### 【スローガン】

「局面打開」

### 【基本方針】

- 1 この困難な状況を乗り越え、更なるステップのために一丸となり情熱を持って取り組もう
- 2 木の素晴らしさ、木の価値を様々な人々に発信していこう

令和4年度

## 木材PR事業計画

私たち長野県木青連は、森林の育成から木材の生産・加工・流通までに携わる立場から、森林資源と木材関連製品の役割が幅広く理解される機会をつくり、木材の重要拡大を図るため、本年度は下記の項目を重点に関係各位の絶大なるご協力、ご指導を得ながら実施してまいり所存ですので、何卒この趣旨にご賛同いただき、特段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1. 「木育事業」長野県児童・生徒木工工作コンクールの開催
2. 木工教室、森林林業教室の開催
3. 10月8日「木の日」PR活動の実施
4. PRカレンダーの斡旋
5. 木青連だより等の発行
6. WEBやSNSを活用した会員内交流と情報発信
7. 各団体、会員、関係諸団体との交流
8. 組織内外にコミュニケーションを深め、ネットワークを広げる
9. 木青連OBとの交流会の開催

令和4年7月

長野県木材青壮年団体連合会

令和4年度

会 長

PR活動担当副会長

木工コンクール担当副会長

総務・財務担当副会長

田 村 紘 一

宮 崎 淳 貴

池 田 剛

由 井 正 宏

# 令和3年度 木材PR事業報告

令和4年3月31日

## 1. 収支決算書

### 【収入の部】

項目	金額
PR事業協賛金	960,000 円
長野県補助事業	1,050,000 円
PRカレンダー斡旋手数料	94,820 円
その他事業収入	163,500 円
合計	2,268,320 円

### 【支出の部】

項目	金額
長野県木工工作コンクール事業費	1,314,005 円
会団PR事業費	186,000 円
県PR事業費	766,533 円
事業運営費	1,782 円
合計	2,268,320 円

## 2. 事業報告

- (1) 長野県児童・生徒木工工作コンクールの開催
- (2) 親子木工教室等の開催
- (3) 森林教室等の開催
- (4) 10月8日「木の日」PR活動の実施
- (5) 信州山の日、長野市農業フェア、カラマツフェス、国営アルプスあづみの公園イベント等への参加
- (6) 木材活用コンクールによる木の新たな需要の開拓
- (7) PRカレンダー等の斡旋
- (8) 木青連だよりの発行・配布
- (9) WEBやSNSを活用した会員内交流と情報発信
- (10) 県木連との合同で県議会農政林務委員会との懇談会への参加
- (11) 関係行政機関及び諸団体との連携強化

令和3年度は以上の事業を行ったことをご報告申し上げます。

長野県木材青壮年団体連合会

令和3年度	会長	田村 紘一
	PR活動担当副会長	宮崎 淳貴
	木工コンクール担当副会長	池田 剛
	総務・財務担当副会長	山浦 豊弘



木材関係事業 補助金交付申請書  
(木工体験活動支援事業)

4木青連補第1号  
令和4年6月13日

長野県林務部長 殿

申請者 住 所 長野市岡田町 30 - 16  
補助事業者名 長野県木材青壮年団体連合会  
代表者氏名 会 長 田 村 紘 一

令和4年度において、木材関係事業（木工体験活動支援事業）を下記のとおり実施したいので、補助金1,050,000円を交付して下さい。

記

- 1 事業の種類 木工体験活動支援事業（県域活動型）
- 2 事業の目的及び内容 インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきている中、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育事業の一環として「木工工作コンクール」や「木工教室」等を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい、将来における県産材利用者づくりに繋げる。
- 3 事業計画 別紙「事業計画書」のとおり

(別紙)

## 事業計画書

### 1 事業の種類

木工体験活動支援事業（県域活動型）

### 2 事業計画

実施種目	事業内容	事業費	事業費の内訳			工 期	
			県費補助金	自己資金		着手予定年月日	完了予定年月日
県域活動型	別紙2のとおり	円 1,500,000	円 1,050,000	円 450,000	円 0	交付決定の日	令和5年 3月17日
合 計		1,500,000	1,050,000	450,000	0		

※県費補助金は、事業費に補助率4分の3を乗じ、千円未満切り捨てた金額とする。

### 3 収支予算

#### (1) 収入

(単位:円)

区分	予算	決算	差引増減	備 考
県費補助金	1,050,000			
自己資金	450,000			
その他	0			
計	1,500,000			

#### (2) 支出

(単位:円)

区分	予算	決算	差引増減	備 考
賃 金	248,000			指導員賃金
謝 金	27,900			指導員謝金
旅 費	0			
需用費	975,580			趣意書・賞状等印刷費、加工費、 記念品代、コピー代等
役務費	58,520			運搬費、郵送費等
委託費	0			
使用料及び 賃借料	10,000			会場使用料等
原材料費	180,000			材料費
備品購入費	0			
計	1,500,000			

### 4 事業完了予定年月日

令和5年3月17日

## 事業内容書 (計画)

活動名	長野県木工工作コンクール・木工体験活動等
主な活動場所	長野県下全域
活動目的	インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきている中、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育事業の一環として「木工工作コンクール」や「木工教室」等を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等と一緒に学んでもらい、将来における県産材利用者づくりに繋げる。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に「木工工作コンクール」を開催し、優秀な木工作品については表彰展示等を行う。</li> <li>・ 県下各地において「木工教室」・「森林教室」などの木育教室を開催し、森林の役割や木材の良さ及び利用方法等について将来を担う子供たちに学んでもらう。</li> <li>・ 県内各地域で行われる木育活動（木工教室）等を推進するため、地域材利用に関する知識を有する指導員等の派遣を行う。</li> </ul> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うイベント開催・参加等について新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、イベント等の開催・参加について以下のとおり対策を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風邪の症状や発熱のある方の参加は避け、「密」を回避する       <ol style="list-style-type: none"> <li>①換気</li> <li>②一定距離の確保</li> <li>③間近での会話を避ける等を必ず行うとともに、これまで同様にマスク着用、咳エチケット、手洗い、消毒や参加者の把握など感染拡大防止策を徹底する。</li> </ol> </li> </ul> <p>以上を満たせない場合は原則、延期又は中止とする。 また、状況等変化に応じ検討を行い、迅速に対応をする。</p>
主な参加者	小中学校・特別支援学校の児童生徒、木工体験に興味を示す親子等
参加人数	子ども 約5,500人、大人 約300人 計 約5,800人
指導者 (所属・属性)	長野県木青連構成員及び他団体要望の者
担当者	長野県木材青壮年団体連合会 事務局 松本寿弘 (TEL: 026-226-1471)

(別紙)

令和4年度  
木工体験活動支援事業（県域活動型） 事業費（補助金額）内訳表

## 1 支出の内訳

## ■木工教室開催・森林教室等

(単位：円)

区分	数量	単価	金額	積算基礎
原材料費	75セット×2回	@1,200	180,000	材料費（ミニイスキット）
小計			180,000	
需用費	75セット×2回	@200	30,000	加工費（ミニイスキット）
	75枚×2回	@11	1,650	コピー代
	2回		13,350	釘代等消耗品費
小計			45,000	
役務費	2回	@10,000	20,000	運搬費等
小計			20,000	
計			245,000	

## ■指導員派遣等

(単位：円)

区分	数量	単価	金額	積算基礎
賃金	20人×4時間	@3,100/1h	248,000	指導員賃金
小計			248,000	
謝金	3人×3時間	@3,100/1h	27,900	指導員謝金
小計			27,900	
役務費	一式		3,100	送金手数料等
小計			3,100	
計			279,000	

## ■木工工作コンクール

(単位：円)

区分	数量	単価	金額	積算基礎
需用費				
	600枚	@256	153,600	趣意書制作費
	600枚	@44	26,400	出品票等制作費
	1回	@110,000	110,000	募集広告掲載費
	9枚	@3,300	29,700	木製賞状楯材料
	9枚	@8,800	79,200	木製賞状楯制作費
	12枚	@6,050	72,600	賞状代（優秀賞）
	600枚	@150	90,000	賞状代（佳作）
	3,300枚	@90	297,000	賞状代（努力賞）
	4個	@6,600	26,400	記念品代（最優秀賞）
	5個	@4,400	22,000	記念品代（特別賞）
	10個	@2,200	22,000	記念品代（優秀賞）
	一式		1,680	消耗品、コピー印刷費等
小計			930,580	
役務費	230校	@154	35,420	募集資料等 会団外学校発送費
小計			35,420	
使用料	1回	@10,000	10,000	会場使用料（表彰式）
小計			10,000	
計			976,000	

合計			1,500,000	
----	--	--	-----------	--

区分内訳	金額
賃金	248,000
謝金	27,900
旅費	0
需用費	975,580
役務費	58,520
委託費	0
使用料・賃借料	10,000
原材料費	180,000
備品購入費	0
合計	1,500,000

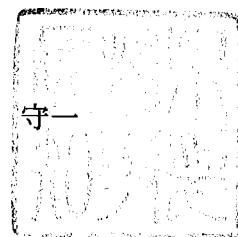
長野県指令 4 信木利第 33 号

長野県長野市岡田町 30-16  
長野県木材青壮年団体連合会  
会長 田村 紘一

令和 4 年 6 月 13 日付け 4 木青連補第 1 号で申請のありました令和 4 年度木工体験活動支援事業補助金 1,050,000 円を次の条件を付して交付します。

令和 4 年 (2022 年) 6 月 21 日

長野県知事 阿部 守一



- 1 補助事業者は、補助金等交付規則（昭和 34 年長野県規則第 9 号）、木材関係事業補助金交付要綱（平成 3 年 7 月 10 日付け 3 林業第 163 号）及び木工体験活動支援事業実施要領（平成 30 年 3 月 30 日付け 29 信木利第 104 号林務部長通知）に従わなければならないこと。
- 2 補助事業者は、補助金に係る収入及び支出を明らかにした帳簿並びに支出に関する証拠書類を事業終了の翌年度から起算して 5 年間（以下「補助制限期間」という。）整理保管するとともに、当該事業により財産を取得した場合は、その取得事業名、取得価格、処分制限期間、処分状況、補助金額取得時期その他財産管理に必要な事項を記載した台帳を備え、必要な関係書類を整理保管しておかなければならないこと。
- 3 補助事業者は、補助制限期間内に、補助事業により取得し、又は効用の増加した財産を処分した場合において、当該処分により収入があったときは、その収入の全部を県に納付させることがあること。
- 4 補助事業者が、補助制限期間内に、知事の付した条件に違反した場合、補助金の交付の決定の全部又は一部を取り消すことがあること。
- 5 補助事業者は、交付の決定を受けた補助事業の全部又は一部を中止し、若しくは廃止しようとするとき、又は補助事業が予定期間内に完了しないときは、速やかに知事に報告してその承認を受けること。

## 令和4年度 令和3年度臨時理事会 議事録(案)

日 時 令和4年5月14日

場 所 オンライン【WEBEX会議】

中 継 長野県林業センター

## 【出席者】

- |               |              |        |      |  |  |
|---------------|--------------|--------|------|--|--|
| ◎ 会 長         | 田村 紘一        |        |      |  |  |
| 直前会長          | 大蔵 俊介        |        |      |  |  |
| 監 事           | 澁澤 一吉        |        |      |  |  |
| 監 事           | 大和 俊英        |        |      |  |  |
| ◎ 代行副会長       | 宮崎 淳貴        |        |      |  |  |
| ◎ 副会長         | 山浦 豊弘        | 〈欠席〉   |      |  |  |
| ◎ 副会長         | 池田 剛         |        |      |  |  |
| ◎ 北信木青連 会団長   | 坂田 庄蔵        |        |      |  |  |
| ◎ 北信木青連 副会団長  | 峯村 亮         |        |      |  |  |
| ◎ 東信木青連 会団長   | 小林 寿徳        |        |      |  |  |
| ◎ 東信木青連 副会団長  | 由井 正宏        | 〈欠席〉   |      |  |  |
| ◎ 松本材青会 会団長   | 田中 一興        |        |      |  |  |
| ◎ 松本材青会 副会団長  | 石亀 道一        | 〈欠席〉   |      |  |  |
| ◎ 事務局長        | 中嶋 章         |        |      |  |  |
| 事務局次長         | 宮澤 遥         | 〈欠席〉   |      |  |  |
| 事務局次長         | 由井 正宏        | 〈欠席〉   |      |  |  |
| 事務局主事         | 松本 寿弘        |        |      |  |  |
| 日本木青連 出向 常任理事 | 北信越地区協議会 会長  | 田中 一興  |      |  |  |
| 日本木青連 出向 理事   | 会団長          | 田村 紘一  |      |  |  |
| 日本木青連 出向 理事   | W・D委員会 副委員長  | 土倉 宣也  | 〈欠席〉 |  |  |
| 日本木青連 出向 理事   | 広報戦略委員会 副委員長 | 印出 晃   | 〈欠席〉 |  |  |
| 日本木青連 出向 理事   | 木材活用委員会 副委員長 | 田中 俊章  | 〈欠席〉 |  |  |
| 日本木青連 出向      | W・D委員会 委員    | 峯村 亮   |      |  |  |
| 日本木青連 出向      | 広報戦略委員会 委員   | 大蔵 俊介  |      |  |  |
| 日本木青連 出向      | 木材活用委員会 委員   | 松木 達征  | 〈欠席〉 |  |  |
| 日本木青連 出向      | 広報戦略委員会 委員   | 大和 俊英  |      |  |  |
|               | オブザーバー       | 日野原 和仁 |      |  |  |

出席者数 13 名 ◎印は理事

開会の辞 池田副会長

会歌斉唱並びに綱領唱和 省略

会長挨拶 田村会長よりありがたいお言葉

直前会長挨拶 大蔵直前会長よりありがたいお言葉

議事進行・司会 中嶋事務局長

資料確認及び字句訂正 特に無し

連絡報告事項

・会議・事業経過報告 田村会長より

ここでは割愛、各自資料に目を通しておいってくださいとの事

宮崎代行副会長が田村会長の指名を受け、議事を進行

議事 議長 宮崎代行副会長

議事録作成人指名 中嶋事務局長

定足数確認 理事 11 名中、出席理事 8 名 欠席理事 3 名 委任状 3 名 成立致します。

審議事項

第1号議案 令和3年度 第3回定例理事会議事録（案）承認の件  
田村会長より上程 3分資料読み込みの後 質問・意見無し

挙手にて採決 全員挙手により 承認

第2号議案 令和3年度 決算報告（案）承認の件  
田村会長より上程

澁澤監事より監査報告の後 質問・意見無し

挙手にて採決 全員挙手により 承認

協議事項 会団事業・活動報告 今回は省略

監事講評 澁澤監事

閉会の辞 池田副会長

議事録作成人 令和3年度 事務局長 中嶋 章



## 令和4年度 令和4年度臨時理事予定者会議 議事録（案）

日 時 令和4年5月14日  
 場 所 オンライン【WEBEX会議】  
 中 継 長野県林業センター

## 【出席者】

- |              |            |
|--------------|------------|
| ◎ 会 長        | 田村 紘一      |
| 直前会長         | 大蔵 俊介      |
| 監 事          | 澁澤 一吉      |
| 監 事          | 大和 俊英      |
| ◎ 代行副会長      | 宮崎 淳貴      |
| ◎ 副会長        | 池田 剛       |
| ◎ 副会長        | 由井 正宏 〈欠席〉 |
| ◎ 北信木青連 会団長  | 坂田 庄蔵      |
| ◎ 北信木青連 副会団長 | 峯村 亮       |
| ◎ 東信木青連 会団長  | 小林 寿徳      |
| ◎ 東信木青連 副会団長 | 由井 正宏 〈欠席〉 |
| ◎ 松本材青会 会団長  | 田中 一興      |
| ◎ 松本材青会 副会団長 | 石亀 道一 〈欠席〉 |
| ◎ 事務局長       | 中嶋 章       |
| 事務局次長        | 由井 正宏 〈欠席〉 |
| 事務局次長        | 宮澤 遥 〈欠席〉  |
| 事務局主事        | 松本 寿弘      |

## 【日本木青連出向者】

- |          |                           |      |       |      |
|----------|---------------------------|------|-------|------|
| 日本木青連 出向 | 常任理事 代行副会長 兼<br>木青連活性化委員会 | 委員長  | 島田 直政 | 〈欠席〉 |
| 日本木青連 出向 | 常任理事 財務委員会                | 委員長  | 田中 俊章 | 〈欠席〉 |
| 日本木青連 出向 | 理事                        | 会団長  | 田村 紘一 |      |
| 日本木青連 出向 | 理事 コラボレーション<br>推進委員会      | 副委員長 | 由井 正宏 | 〈欠席〉 |
| 日本木青連 出向 | 理事 全国大会実行委員会              | 副委員長 | 宮崎 淳貴 |      |
| 日本木青連 出向 | 理事 全国大会実行委員会              | 副委員長 | 峯村 亮  |      |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会              | 副委員長 | 澁澤 一吉 |      |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会              | 副委員長 | 土倉 宜也 | 〈欠席〉 |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会              | 副委員長 | 田中 博文 | 〈欠席〉 |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会              | 副委員長 | 大蔵 俊介 | 〈欠席〉 |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会              | 副委員長 | 田中 一興 | 〈欠席〉 |

日本木青連	出向	総務委員会	委員	中嶋 章
日本木青連	出向	S C M推進委員会	委員	坂田 庄蔵
日本木青連	出向	全国大会実行委員会	委員	宮澤 薫 (欠席)
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	田村 紘一
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	宮崎 淳貴
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	中嶋 章
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	宮澤 遥 (欠席)
		オブザーバー		日野原 和仁

出席者数 13 名 ◎印は理事

開会の辞 池田副会長

会歌斉唱並びに綱領唱和 省略

会長挨拶 田村会長よりありがたいお言葉

直前会長挨拶 大蔵直前会長よりありがたいお言葉

司会 中嶋事務局長

資料確認及び字句訂正 P 3 25 行目 田中 直政→島田 直政に訂正

P 4 26 行目 (脱退 5 名・侵入 1 名) → (脱退 5 名・新入 1 名) に訂正

連絡報告事項

・会議・事業経過報告 田村会長より説明

P 2 4/9 長野県木青連 理事予定者会議

4/13 長野県林務部・中部森林管理局新年度挨拶回り

4/16 日本木青連第 1 回理事会 (東京 W E B 会議)

5/9 長野県木青連監査 (長野県林業センター)

5/14 長野県木青連 臨時理事会・臨時理事予定者会議・定時総会

宮崎代行副会長が田村会長の指名を受け、議事を進行

議事 議長 宮崎代行副会長

議事録作成人指名 中嶋事務局長

定足数確認 理事 10 名中、出席理事 8 名 欠席理事 2 名 委任状 2 名 成立致します。

審議事項

第1号議案 令和4年度 理事予定者会議議事録（案）承認の件  
田村会長より上程 資料読み込み3分程後 質問・意見無し

挙手にて採決 全員挙手により 承認

第2号議案 令和4年度 収支予算（案）承認の件  
田村会長より上程 会団PR会費拠出額20%→15%に変更（前回の念押し）

坂田北信会団長 PR会費の変更（20→15%）は今年度（令和4年度）  
からでしょうか。

田村会長 今年度からです。

挙手にて採決 全員挙手により 承認

協議事項 会団事業・活動報告 今回は省略

監事講評 大和監事より講評

閉会の辞 池田副会長

議事録作成人 令和4年度 事務局長 中嶋 章

## 令和4年度 定時総会 議事録 (案)

日 時 令和4年5月14日  
 場 所 オンライン【WEBEX会議】  
 中 継 長野県林業センター

## 【出席者】

◎ 会 長 田村 紘一  
 直前会長 大蔵 俊介  
 監 事 澁澤 一吉  
 監 事 大和 俊英  
 ◎ 代行副会長 宮崎 淳貴  
 ◎ 副会長 池田 剛  
 ◎ 副会長 由井 正宏 〈欠席〉  
 ◎ 北信木青連 会団長 坂田 庄蔵  
 ◎ 北信木青連 副会団長 峯村 亮  
 ◎ 東信木青連 会団長 小林 寿徳  
 ◎ 東信木青連 副会団長 由井 正宏 〈欠席〉  
 ◎ 松本材青会 会団長 田中 一興  
 ◎ 松本材青会 副会団長 石亀 道一 〈欠席〉  
 ◎ 事務局長 中嶋 章  
 事務局次長 由井 正宏 〈欠席〉  
 事務局次長 宮澤 遥 〈欠席〉  
 事務局主事 松本 寿弘

## 【日本木青連出向者】

日本木青連 出向 常任理事 代行副会長 兼  
 木青連活性化委員会 委員長 島田 直政 〈欠席〉  
 日本木青連 出向 常任理事 財務委員会 委員長 田中 俊章  
 日本木青連 出向 理事 会団長 田村 紘一  
 日本木青連 出向 理事 コラボレーション  
 推進委員会 副委員長 由井 正宏 〈欠席〉  
 日本木青連 出向 理事 全国大会実行委員会 副委員長 宮崎 淳貴  
 日本木青連 出向 理事 全国大会実行委員会 副委員長 峯村 亮  
 日本木青連 出向 理事 木青連活性化委員会 副委員長 澁澤 一吉  
 日本木青連 出向 理事 木青連活性化委員会 副委員長 土倉 宜也  
 日本木青連 出向 理事 木青連活性化委員会 副委員長 田中 博文  
 日本木青連 出向 理事 木青連活性化委員会 副委員長 大蔵 俊介  
 日本木青連 出向 理事 木青連活性化委員会 副委員長 田中 一興

日本木青連	出向	総務委員会	委員	中嶋 章
日本木青連	出向	S C M推進委員会	委員	坂田 庄蔵
日本木青連	出向	全国大会実行委員会	委員	宮澤 薫 (欠席)
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	田村 紘一
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	宮崎 淳貴
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	中嶋 章
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	宮澤 遥 (欠席)
		オブザーバー		日野原 和仁

出席者数 16 名 ◎は理事

開会の辞 池田副会長

会歌斉唱並びに綱領唱和 池田副会長より綱領のみ唱和

会長挨拶 田村会長よりありがたいお言葉

直前会長挨拶 大蔵直前会長よりありがたいお言葉

司会 中嶋事務局長

資料確認及び字句訂正 P 12 令和 4 年度事業日程 (案) の県木連の 5 月の第 63 回県会員東信大会→定時総会・令和 3 年度臨時理事会・令和 4 年度臨時理事予定者会議に訂正

P 12 令和 4 年度事業日程 (案) の北信越地区協議会の令和 5 年度 2 月の石川大会の日程が未定→2 月 4 日に訂正

P 13 8 行目 峰村 亮→峯村 亮に訂正

宮崎代行副会長が田村会長の指名を受け、議事を進行

議事 議長 宮崎代行副会長

議事録作成人指名 中嶋事務局長

定足数確認 会員数 33 名中 出席 14 名 欠席 19 名 委任状 19 名により 成立致します。

連絡報告事項

- ・会議・事業経過報告 田村会長より説明

2/19 長野県木青連第4回理事会・北信越地区協議会長野大会 WEB会議

- ・日本木青連からの連絡報告 田村会長より説明

令和4年度は日本木青連への出向者が多く島田体制の為、各々の役員の皆さん  
情報収集宜しくお願い致します。

審議事項

第1号議案 令和3年度事業報告及び決算報告（案）承認の件

田村会長より上程

澁澤監事より監査報告

質問・意見無し 挙手にて採決 全員挙手により 承認

第2号議案 会則の一部改正について 承認の件

田村会長より上程 役員任期事（1期2年制）事務局次長も追加

田中一興さんより 年度任期の確認

田村会長より 来年度より1任期2年制（令和5・6年）になるとの説明

質問・意見無し 挙手にて採決 全員挙手により 承認

第3号議案 令和4年度役員（案）承認の件

田村会長より上程 令和4年度財務副会長 山浦副会長→由井副会長へ変更  
各役員・出向者の役職・指名確認

質問・意見無し 挙手にて採決 全員挙手により 承認

第4号議案 令和4年度 事業計画（案）及び予算（案） 承認の件

田村会長より上程 スローガン変更なし・事業計画も基本は変わらず  
新しいことをやる時は皆さんに上程していきます。  
全国大会（北海道大会）への長野県の出向者は6名、  
長野大会に向けての情報収集をしてきます。

田中一興さんより 令和4年度事業日程、令和5年度2月の北信越地区協議会・  
石川大会の予定が未定とあるが、2月4日に字句修正も兼ね  
て訂正の指摘。  
P13の峰村亮の「峰」を「峯」へと字句修正の指摘。

挙手にて採決 全員挙手により 承認

閉会の辞 池田副会長

議事録作成人 令和4年度 事務局長 中嶋 章

## 令和4年PRカレンダー斡旋事業(案)

## ★ 事業計画書

議案作成者 PRカレンダー担当副会長 宮崎 淳貴

事業名称 : 令和4年PRカレンダー斡旋事業

担当副会長 : 宮崎 淳貴

事業主体 : 長野県木材青壮年団体連合会

実施予定日時 : 最終締め切り 9月30日(金)

実施予定場所 : 長野県下

対象者 : 会団・会員・その他

趣旨・目的 : 木青連の活動を広める。

斡旋手数料により県木青連・各会団共に事業収入を得て、木青連活動に活かす。

事業内容 : ①PRカレンダーを斡旋す

各会団ごとに斡旋活動をしていただく。

個人会員へは、申し込み書等を共立プランニングより発送していただく。

②斡旋手数料

斡旋手数料は1部につき会団へ@50円、県木青連へ@50円とする。

個人会員への斡旋手数料は県木青連へ@100円とする。

③請求及び集金

請求及び集金は各会団ごとに行なっていただく。

その上で斡旋手数料を引いた金額を県木青連に支払っていただく。

個人会員への請求及び集金は、県木青連が行なう。

準備スケジュール : 7月上旬 (株)共立プランニング 日野原氏との打ち合わせ

実施プログラム : 7月中旬～申し込み書・カレンダー見本配布

9月1日 第1次締め切り

9月30日 最終締め切り

11月～ 申し込み順にカレンダー発送

予算 : 別紙の通り

担当者 : PRカレンダー担当副会長 宮崎 淳貴

外部協力者 : (株)共立プランニング 日野原氏

[連絡先] TEL026-238-8877 FAX026-238-8870

添付資料 : 予算書



## 令和4年PRカレンダー斡旋事業 予算(案)

## 収支予算書

## 【収入の部】

大項目	中項目	前年度決算額	予算額	摘要
事業収入	PRカレンダー	1,319,320	1,450,000	
	日本木青連カレンダー	0	0	
収入合計		1,319,320	1,450,000	

## 【支出の部】

大項目	中項目	前年度決算額	予算額	摘要
PR事業費	PRカレンダー	1,224,500	1,293,000	会団手数料を除く共立プランニング支払金額 (見本帳印刷費・申込書・発送費等含む)
	日本木青連カレンダー	0	0	
支出合計		1,224,500	1,293,000	(税込)

収入の部		1,319,320	1,450,000	
支出の部		1,224,500	1,293,000	
手数料収入		94,820	157,000	(税込) 本会計へ繰入

※ここ数年、日本木青連カレンダーの注文はあるが、県木青連への手数料がないため予算は計上していない。

## 令和4年度 第45回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業計画(案)

## ★ 事業計画書

議案作成者 木工工作担当副会長 池田 剛

事業名称	令和4年度 第45回長野県児童・生徒木工工作コンクール
担当副会長	池田 剛
事業主体	長野県木材青壮年団体連合会
実施予定日時	審査会(予定):令和4年10月7日(金) 表彰式(予定):令和4年11月 土曜日又は日曜日
実施予定場所	審査会(予定):塩尻市 長野県林業総合センター 表彰式(予定):未定
対象者	長野県下 小・中・盲・ろう・養護学校の児童生徒
趣旨・目的	子供たちに木を使って自由な発想で物を創る喜びを感じ取ってもらう。 また、木を使うことにより、自然との関わり方や自然の温かみを学んでもらう。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象学校に趣意書を配布するとともに、多くの作品を出品してもらうようお願いする。</li> <li>各地区(会団)ごとに、作品を取りまとめ事前審査を行ない、佳作および審査会提出作品を決定する。</li> <li>審査員をお招きし、出品作品の中から各賞を決定する。</li> <li>入選作品を県庁等に展示し、事業のPRをする。</li> <li>最優秀賞(県知事賞)の作品を、全国児童・生徒木工工作コンクールに出品する。</li> </ul> <b>※新型コロナウイルス感染症対策をして実施する。</b>

準備スケジュール	※別添「事業計画書」参照		
	6月中	会場仮押さえ	9月30日(金)まで 地区審査、結果報告
	6月中	共催・後援依頼	10月 3日(月)まで 県取りまとめ
	7月中	趣意書等の配布	10月 7日(金) 県審査会(塩尻市)
	9月中	審査員の依頼	10月24日(月)～28日(金)
	9月16日(金)	応募締め切り	作品展示(長野県庁)
			11月 日( ) 表彰式

実施プログラム	審査会スケジュール(予定)	10:30～11:30	会場準備(役員)
	10月 7日(金)	11:30～13:00	作品搬入
		13:20～13:30	審査員 集合・受付
		13:30～13:50	開会
		13:50～14:20	審査
		14:20～14:30	審査結果発表
		14:30～14:40	講評
		14:40	閉会
		14:40～15:30	写真撮影・片付け
	表彰式スケジュール(予定)	: ~	集合・準備
	月 日( )	: ~	受賞者集合
		: ~	プレゼンター集合
		: ~	開会
		: ~	記念写真撮影
		:	閉会

予 算 : 別紙の通り

担 当 者 : 木工工作担当副会長 池田 剛

外 部 協 力 者 : (株)共立プランニング

[連絡先]

添 付 資 料 : 予算書  
応募要領

## 令和4年度(第45回)長野県児童・生徒木工工作コンクール収支予算(案)

## 収支予算書

## 【収入の部】

大項目	中項目	予算額	摘要
PR事業費	県木工工作コンクール事業費	1,330,000	
収入合計		1,330,000	

## 【支出の部】

大項目	中項目	予算額	摘要
事業費	資料作成発送	377,000	趣意書、出品票、持込先リスト、ポスター、 会団管轄外学校発送費等
	審査会	12,000	
	賞状	588,100	入選・優秀賞・佳作・努力賞
	《内訳》 入選	121,000	材料代、加工代等(10個) 制作代8,800×10、材料代3,300×10
	優秀賞	72,600	@6,050×12枚
	佳作	90,000	B4版 @150×600枚
	努力賞	297,000	A4版 @90×3,300枚
	雑費	7,500	賞状用紐・金具・箱代等
	記念品	74,800	
	《内訳》 入選	52,800	6,600×4(知事賞)、4,400×6(特別賞)
	優秀賞	22,000	10個(2,200円)
	佳作	0	
	展示用備品	10,000	概要ポスター、クロス等
	表彰式	40,000	
	《内訳》 会場使用料	10,000	会場使用料
	表彰式設営費	10,000	ステージ、音響一式、看板等
	表彰式アシスタント代	0	
	雑費	20,000	賞状発送費、紙袋代、振込手数料等
	全国大会交通費	0	※R3年度の受賞の表彰式を6月開催でしたが、 新型コロナウイルスの影響でWEB開催。 長野県3作品が対象
	作品運搬費	50,000	
	通信・印刷費	43,100	送料、振込手数料、事務通信費他
	広告費	135,000	
支出合計		1,330,000	(税込)

# 【木育事業】令和4年度

## 長野県児童・生徒木工工作コンクール事業計画（案）

※この事業は、「長野県森林づくり県民税」を活用しています。

### 1 趣 旨

近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にしたい心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。

そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施します。

### 2 主 催

長野県木材青壮年団体連合会

### 3 共 催（予定）

長野県  
中部森林管理局  
(公財)長野県緑の基金  
長野県県産材振興対策協議会  
長野県木材協同組合連合会

### 4 後 援（予定）

長野県教育委員会、(一財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、a b n長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

### 5 事業日程

別紙のとおり

### 6 応募要領

#### (1) 応募要件

##### ア) 応募資格

長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

##### イ) 募集区分

長野県内の小学校低学年（1～4年生）、小学校高学年（5～6年生）、中学校、盲・ろう・養護学校の4部門とし、各々児童生徒の個人またはグループとします。

##### ウ) 作品基準

- ①テーマ 自由（ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること）
- ②大きさ 1辺が55cm以内（タテ・ヨコ・高さ・台含めて 全て55cm以内）  
※展開したり、広げて展示する作品で55cmを超えないこと
- ③その他 注1≫ 搬入搬出において、壊れにくいもの  
(破損した場合の責任は負いません)

##### エ) 免責事項

- ①万一破損などが発生した場合は、本会にて補修等を試みますが、完全に元通りにはならない場合もありますことを予めご了承願います。

②前記①および作品の送付返信等による破損、紛失等については、誠に恐れ入りますが代償の支払い等を含めいかなる責任も負うことはできません。

オ) 個人情報

応募者の個人情報は、当連合会で厳重に管理し本コンクール以外の利用は致しません。  
なお、本コンクールに入賞した場合、入賞者の作品名・氏名・学校名・学年については、報道機関を含む共催・後援機関等へ発表させていただきます。

(2) 作品応募締切

令和4年9月16日(金)

【送り先】

最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

(3) 審査

ア) 基準

各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。

また、小学校低学年(1~4年)、小学校高学年(5~6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上4部門に分けて審査を行なう。

- 子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
- 木の持味を生かし独創性に優れていること。
- 機能、デザインが優秀であること。
- 工作技術が優秀であること。

イ) 審査会(予定)

日時/令和4年10月7日(金)

場所/長野県林業総合センター(塩尻市)

ウ) 審査員(予定)

長野県  
長野県教育委員会  
中部森林管理局  
(公財)長野県緑の基金  
長野県県産材振興対策協議会  
長野県木材協同組合連合会及び主催者側から数名選任

エ) 賞(予定)

- 最優秀賞(長野県知事賞) . . . . . 全作品の中から3点~4点
- 長野県教育委員会賞 . . . . . // 1点
- 中部森林管理局 局長賞 . . . . . //
- (公財)長野県緑の基金 理事長賞 . . . . . //
- 長野県県産材振興対策協議会 会長賞 . . . . . //
- 長野県木材協同組合連合会 理事長賞 . . . . . //
- 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞 . . . . . //
- 優秀賞 . . . . . // 10点
- 佳作 . . . . . // (約600点)
- 努力賞 . . . . . 上記賞以外の応募作品全員

オ) 発表

木青連担当者から各学校を通じて受賞者の児童生徒の皆さんにお知らせする。

(4) 表彰式(予定)

日時/令和4年11月 土曜日又は日曜日を予定

場所/未定

(5) 作品展示(予定)

長野県林務部等のご協力のもと、長野県庁1階ロビー等において、審査会后、約1~2週間優秀賞に選ばれた作品の展示を行なう。

また、各地区においても出来るだけ展示をする。

■長野県庁 ロビー展示 /令和4年10月24日(月)~10月28日(金)

## 事業日程(案)

年 月 日	場 所	内 容
令和4年 6月中下旬	県下全域	各関係機関へ共催・後援依頼書送付
令和4年 7月上旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付
～ 9月	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中) 各材料の提供配布は地元会員が手配
9月16日(金)	県下全域	作品応募締め切り(作品の回収)
9月17日(土)～9月30日(金)	県下全域	各地区審査会を実施 作品の集計表とりまとめ 県木青連事務局へ提出
～10月 3日(月)	県下全域	県本部 作品の集計とりまとめ
10月 7日(金)	塩尻市	長野県 審査会
10月24日(月)～10月28日(金)	長野市	最優秀賞(県知事賞)等展示 長野県庁1Fロビー
11月(土)又は(日)(予定)	未定	表彰式
令和5年 1月10日(土) 一次審査(予定) 3月 4日(土) 最終審査(予定)	宮崎市	全国審査会に長野県最優秀賞の作品を 出品
令和5年 6月 3日(土)(予定)	高知市	全国表彰式

令和3年度長野県児童・生徒木工工作コンクール受賞作品集 (学年は受賞時のものです)

最優秀賞(長野県知事賞)

「かななくずファッション」

信州大学教育学部附属松本小学校3年  
等々力 蒼乃



林野庁中部森林管理局長賞

「タカ」

南木曾町立南木曾小学校5年  
加藤 新大



最優秀賞(長野県知事賞)

「めでたい」

南木曾町立南木曾小学校6年  
松下 世

※全国児童・生徒木工工作コンクール  
「全国造形教育連盟委員長賞」受賞



公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

「バベルの塔」

御代田町立御代田北小学校5年  
浅井 太鷗

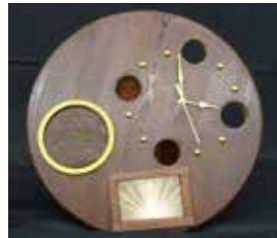
※全国児童・生徒木工工作コンクール  
「Tree Rings」受賞



最優秀賞(長野県知事賞)

「写真入れつき時計」

原村立原中学校1年  
菊池 桜介



長野県木材協同組合連合会 理事長賞

「イルカ」

茅野市立湖東小学校6年  
柳澤 輝磨



最優秀賞(長野県知事賞)

「ぼくの住みたいおうち」

大町市立大町東小学校4年  
大田 晃大



長野県産材振興対策協議会 会長賞

「岩魚」

上田市立武石小学校2年  
畔地 美心



長野県教育委員会賞

「音ぷのかさたて」

南箕輪村立南部小学校4年  
北原 彩葉

※全国児童・生徒木工工作コンクール  
「日本木青連木育推進委員長賞」受賞



長野県木材青年団体連合会 会長賞

「サッカースパイク」

軽井沢町立軽井沢西部小学校5年  
関 侖都



優秀賞

作品名	氏名	学校名	学年
アマビエ	西條 周磨	長野市立芹田小学校	6年
鳥かご	本山 天登	上田市立神川小学校	3年
コロナよおさまれ! もどれおだやかな日々	白倉 大雅	東御市立滋野小学校	4年
家族のツリーハウス	上條 岳	茅野市立豊平小学校	3年
諏訪大社春宮	大村 耀介	下諏訪町立下諏訪北小学校	5年
永久カレンダー	池石 飛星	岡谷市立川岸小学校	6年
木で作ったそろばん	北原 颯也	南箕輪村立南部小学校	4年
わたしのゆめの花やさん	河村美結花	南木曾町立南木曾小学校	3年
ジャックと豆の木	高橋想乃奏	南木曾町立南木曾小学校	4年
桜かご	河村美桜里	南木曾町立南木曾小学校	5年

令和3年度  
長野県児童生徒木工工作コンクール内訳

総参加人数	4,347名
参加学校数	
小学校	134校
中学校	2校
盲・ろう・養護学校	0校
合計	136校
審査会出品数	68点
入選	10点
優秀賞	10点
佳作	539点
努力賞	3,788点
総作品数	4,347点

※学年は受賞した昨年度のもので。

第45回 長野県児童・生徒  
木工工作コンクール



触れて、創って、知る ウッドコレクション

第45回 長野県児童・生徒 木工工作コンクール

締切 / 令和4年9月16日(金) 審査 / 令和4年10月7日(金)

詳しい情報は <http://n-msr.com/>

●主催 / 長野県木材青年団体連合会 ●共催(予定) / 長野県・中部森林管理局・(公財)長野県緑の基金・長野県産材振興対策協議会・長野県木材協同組合連合会  
●後援(予定) / 長野県教育委員会・(一財)長野県建築住宅センター・長野県森林組合連合会・NHK長野放送局・SBC信越放送・NBS長野放送・TSBテレビ信州・  
abn長野朝日放送・長野エフエム放送・新建新聞社・長野県民新聞社

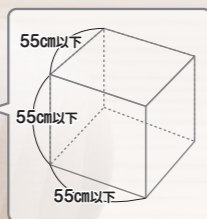
※この事業は、「長野県森林づくり県民税」を活用しています。

# 第45回 長野県児童・生徒木工工作コンクール

## 応募要項

### ■ 募集要件

- 1). 応募資格  
長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん
- 2). 募集区分  
長野県内の小学校低学年(1~4年生)、小学校高学年(5~6年生)、中学校、盲・ろう・養護学校の4部門とし、各々児童生徒の個人またはグループとします。
- 3). 作品基準
  - ①テーマ/自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した総作品であること)
  - ②大きさ/1辺が**55cm**以下  
(タテ・ヨコ・高さ全て**55cm**以下)  
※台を含め55cm以下、展開したり、広げて展示する作品も55cm以下
  - ③その他/搬入搬出において、壊れにくいもの(破損した場合の責任は負いません)出来るだけ県産材を活用してください。
- 4). 免責事項
  - ①万一破損などが発祥した場合は、本会にて補修等を試みますが、完全に元通りにならない場合もありますことを予めご了承をお願いします。



②前記①および作品の送付返信等による破損、紛失等については、誠に恐れ入りますが代償の支払い等を含めいかなる責任も負うことはできません。

### ■ 締め切り

令和4年9月16日(金)

### ■ 送り先

最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店または各団体まで。

### ■ 審査員(予定)

長野県教育委員会、長野県、中部森林管理局、長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会 及び 主催者側から選任

### ■ 審査

令和4年10月7日(金)  
塩尻市 長野県林業総合センター(塩尻市大字片丘5739)

### ■ 発表

主催(木青連)担当者から各学校を通じて受賞者の児童・生徒の皆さんにお知らせいたします。

### ■ 表彰式

令和4年11月頃予定

### ■ 賞

- 小学校低学年の部門(1~4年の児童)
  - 小学校高学年の部門(5~6年の児童)
  - 中学校部門
  - 盲・ろう・養護学校部門
- 以上4部門に分けて審査を行い、各賞を決定いたします。

最優秀賞(長野県知事賞)..... 全作品の中から各部門ごとに数点 特別賞

長野県教育委員会賞/中部森林管理局局長賞/(公財)長野県緑の基金理事長賞/長野県県産材振興対策協議会会長賞/長野県木材協同組合連合会理事長賞/長野県木材青壮年団体連合会会長賞

- ..... 全作品の中から数点 優秀賞..... 全作品の中から数点 佳作..... 全作品の中から数点 努力賞..... 応募者全員

## 留意点

- ご応募の際は、作品名・氏名・学校住所・学校名・学年を誤した出品票を作品に添付してください。なお、「作品持ち込み先リスト」及び、「出品票」に関しましては当団体HPからダウンロードもできます。
- 最優秀賞の作品は、日本木青連主催「全国児童・生徒木工工作コンクール」に出品いたします。また、同全国木工工作コンクール入賞者につきましては、表彰式を日本木青連全国大会にて行います。

■主催:長野県木材青壮年団体連合会

■共催(予定):長野県/中部森林管理局/(公財)長野県緑の基金/長野県県産材振興対策協議会/長野県木材協同組合連合会

■後援(予定):長野県教育委員会/(一財)長野県建築住宅センター/長野県森林組合連合会/NHK長野放送局/SBC信越放送/NBS長野放送/TSBテレビ信州/abn長野朝日放送/長野エフエム放送/新建新聞社/長野県民新聞社

### 【個人情報】

応募者の個人情報は、当連合会で厳重に管理し本コンクール以外の利用は致しません。なお、本コンクールに入賞した場合、入賞者の作品名・氏名・学校名・学年については、報道機関を含む共催・後援機関等へ発表させていただきます。

## 第45回 長野県児童・生徒 木工工作コンクール

締め切り:令和4年9月16日(金) 審査:令和4年10月7日(金)

詳しい情報はこちら→: <http://n-msr.com/>

### ■ お問い合わせ先

- 長野県木青連木工工作コンクール担当副会長 池田 剛  
征矢野建材(株) 〒399-0033 松本市笹賀7116-1 TEL:0263-86-0250 FAX:0263-86-4461
- 長野県木青連事務局(県木連内)  
〒380-8567 長野市岡田町30-16 TEL:026-226-1471 FAX:026-228-0580

## 各地区作品持込み・問合せ先

下記の企業にて作品を受け付けております。まず、お住まいの地区担当までご連絡ください。

地区	企業名(材木店名)	役職名	担当者	電話番号	FAX	住所	
長野	長野市(若穂地区除く)・千曲市・上水内郡・埴科郡	坂田木材(株)	常務取締役 坂田 庄蔵	026-292-3203	026-292-4119	〒388-8018 長野市篠ノ井西寺尾2772-1	
	※持ち込みは右記まで	長野県木材協同組合 事務局(金 9:30~16:00)		026-296-6633	026-296-6643	〒381-0003 長野市大字穂保町裏250-5	
須高	長野市若穂地区・須坂市・上高井郡	須高木材協同組合 事務局(月~木 10:00~16:00)		026-245-0281	026-214-5156	〒382-0099 須坂市墨坂2丁目6番1号	
高水	飯山市・中野市・下水内郡・下高井郡	中沢木材(株)	代表取締役社長 中澤 勝成	0269-22-2618	0269-22-5632	〒383-0064 中野市新井宮廻り614	
上小	上田市・小県郡・東御市	小林木材(株)		小林 寿徳	0268-88-2007	0268-88-2423	〒386-0701 小県郡長和町和田4336-1
佐久	佐久市・小諸市・北佐久郡・南佐久郡	(株)吉本	専務取締役 由井 正宏	0267-86-4305	0267-86-5544	〒384-0611 南佐久郡佐久穂町平林	
松筑	松本市・塩尻市・東筑摩郡	(株)国興	代表取締役 田中 一興	0263-58-2095	0263-58-2015	〒399-0027 松本市寿南1-7-22	
南安	安曇野市・南安曇郡	ヒルデブランド(株)	代表取締役 印出 晃	0263-81-5550	0263-81-5551	〒399-8301 安曇野市穂高有明9973-1	
大北	大町市・北安曇郡	大北木材協同組合 事務局		0261-22-0025	0261-22-0418	〒398-0002 大町市大町3048-2	
諏訪	諏訪市・岡谷市・茅野市・諏訪郡	(有)カクダイ製材所	代表取締役 中村 孝	0266-72-0414	0266-72-3290	〒391-0013 茅野市宮川216-1	
※出品票はこちらまで FAX.0266-72-3290							
上伊那	伊那市・駒ヶ根市・上伊那郡	上伊那木材協同組合 事務局(9:00~15:00)		0265-72-2165	0265-72-2166	〒396-0023 伊那市山寺274-1	
下伊那	飯田市・下伊那郡	マルト木材(株)	代表取締役 後藤 武志	0265-52-3349	0265-52-3348	〒395-0821 飯田市松尾新井7217	
木曾	木曾郡全域(お近くの持込み先までお願いします)	木曾木材工業協同組合		千村 高穂	0264-52-5500	0264-52-5501	〒399-5608 木曾郡上松町荻原1579-3
		志水製材所		志水 賢司	0264-57-2212	0264-57-2212	〒399-5301 木曾郡南木曾町読書3552-6

## 困った時は聞いてみよう!

作品の材料や、コンクールの事で困ったり、わからない事があったらここに聞いてみよう!

長野県木青連の会員連絡先はこちら(必ず木青連の〇〇さんと言ってね)  
あなたの家の近くにも木青連に入っている会社があるかも・・・いろいろ聞いてみてね。

北信地区				田村木材				佐久市新子田			
瑞穂木材	木島平村	0269-82-3118	宮崎さん	吉本	佐久穂町	0267-86-4305	由井さん	小林 創建	松本市高宮北	0263-26-6260	小林さん
中沢木材	中野市新井宮廻り	0269-22-2618	中澤さん	武重	小諸市	0267-23-8484	新井さん	オガサワラ林業	松本市中山	0263-58-5939	小笠原さん
土倉製材所	飯綱町	026-253-2320	土倉さん	齋藤木材工業	長和町	0268-68-3883	齋藤さん	ヒルデブランド	安曇野市穂高有明	0263-81-5550	印出さん
おちあい	長野市岡田町	026-227-1520	山崎さん	第三木材	東御市加沢	0268-62-1202	島田さん	諏訪地区			
扶桑産業	長野市北長池	026-243-1210	澁澤さん	小林木材	長和町和田	0268-88-2007	小林さん	カクダイ製材所	茅野市	0266-72-0414	中村さん
峯村材木店	千曲市粟佐	026-272-1182	峯村さん	和木材	東御市海善寺	0268-62-0222	田中さん	その他協力先			
坂田木材	長野市篠ノ井	026-292-3203	坂田さん	中信地区				須高木材協同組合	須坂市	026-245-0281	
宮澤木材産業	長野市中曾根	026-239-0588	宮澤さん	征矢野建材	松本市笹賀	0263-86-0250	池田さん	大北木材協同組合	大町市	0261-22-0025	
長野県林業利用業協同組合	長野市中曾根	026-239-0577	宮澤さん	国興	松本市寿南	0263-58-2095	田中さん	上伊那木材協同組合	伊那市	0265-72-2165	
東信地区				大藏木工	松本市宮沢	0263-32-1960	大藏さん	マルト木材	飯田市	0265-52-3349	
田中製材工業	東御市下之城	0268-67-2139	田中さん	林友	松本市渚	0263-25-0171	石亀さん	木曾木材工業協同組合	上松町	0264-52-5500	
中島木材	佐久市新子田	0267-67-4038	中嶋さん	佐原建設	安曇野市豊科	0263-72-2100	佐原さん	志水製材所	南木曾町	0264-57-2212	



# 第45回 長野県児童・生徒 木工工作コンクール



## 触れて、創って、知る ウッドコレクション

※この事業は、「長野県森林づくり県民税」を活用しています。

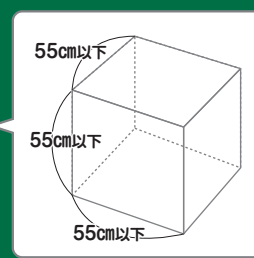
# 第45回 長野県児童・生徒 木工工作コンクール

締切／令和4年9月16日(金) 審査／令和4年10月7日(金)

### 応募要項

#### ■募集要件

1. 応募資格  
長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん
2. 募集区分  
長野県内の小学校低学年(1~4年生)、小学校高学年(5~6年生)、中学校、盲・ろう・養護学校の4部門とし、各々児童生徒の個人またはグループとします。
3. 作品基準
  - ①テーマ／自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した総作品であること)
  - ②大きさ／1辺が55cm以下  
(タテ・ヨコ・高さ全て55cm以下)  
※台を含め55cm以下、展開したり、広げて展示する作品も55cm以下
  - ③その他／搬入搬出において、壊れにくいもの(破損した場合の責任は負いません)出来るだけ県産材を活用してください。
4. 免責事項
  - ①万一破損などが発生した場合は、本会にて補修を試みますが、完全に元通りにならない場合もありますことを予めご了承ください。
  - ②前記①および作品の送付返信等による破損、紛失等については、誠に恐れますが代償の支払い等を含めいかなる責任も負うことはできません。



#### ■締め切り

令和4年9月16日(金)

#### ■送り先

最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店または各団体まで。

#### ■審査員(予定)

長野県教育委員会、長野県、中部森林管理局、長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会 及び 主催者側から選任

#### ■審査

令和4年10月7日(金)  
塩尻市 長野県林業総合センター(塩尻市大字片丘5739)

#### ■発表

主催(木青連)担当者から各学校を通じて受賞者の児童・生徒の皆さんにお知らせいたします。

#### ■表彰式

令和4年11月頃予定

#### 【個人情報】

応募者の個人情報は、当連合会で厳重に管理し本コンクール以外の利用は致しません。なお、本コンクールに入賞した場合、入賞者の作品名・氏名・学校名・学年については、報道機関を含む共催・後援機関等へ発表させていただきます。

#### ■賞

- 小学校低学年の部門(1~4年の児童)
- 小学校高学年の部門(5~6年の児童)
- 中学校部門
- 盲・ろう・養護学校部門

以上4部門に分けて審査を行い、各賞を決定いたします。

最優秀賞(長野県知事賞)…………… 全作品の中から各部門ごとに数点

#### 特別賞

長野県教育委員会賞 / 中部森林管理局局長賞 / (公財)長野県緑の基金理事長賞 / 長野県県産材振興対策協議会会長賞 / 長野県木材協同組合連合会理事長賞 / 長野県木材青壮年団体連合会会長賞

…………… 全作品の中から数点

優秀賞…………… 全作品の中から数点

佳作…………… 全作品の中から数点

努力賞…………… 応募者全員

### 留意点

- ご応募の際は、作品名・氏名・学校住所・学校名・学年を明記した出品票を作品に添付してください。なお、「作品持ち込み先リスト」及び、「出品票」に関しましては当団体HPからダウンロードもできます。
- 最優秀賞の作品は、日本木青連主催「全国児童・生徒木工工作コンクール」に出品いたします。また、同全国木工工作コンクール入賞者につきましては、表彰式を日本木青連全国大会にて行います。

#### ■主催：長野県木材青壮年団体連合会

■共催(予定)：長野県 / 中部森林管理局 / (公財)長野県緑の基金 / 長野県県産材振興対策協議会 / 長野県木材協同組合連合会

■後援(予定)：長野県教育委員会 / (一財)長野県建築住宅センター / 長野県森林組合連合会 / NHK長野放送局 / SBC信越放送 / NBS長野放送 / TSBテレビ信州 / abn長野朝日放送 / 長野エフエム放送 / 新建新聞社 / 長野県民新聞社

#### ■お問い合わせ先

- 長野県木青連木工工作コンクール担当副会長 池田 剛  
征矢野建材(株) 〒399-0033 松本市笹賀7116-1 TEL:0263-86-0250 FAX:0263-86-4461
- 長野県木青連事務局(県木連内)  
〒380-8567 長野市岡田町30-16 TEL:026-226-1471 FAX:026-228-0580

詳しい情報は <http://n-msr.com/>

#### 困った時は聞いてみよう! 長野県木青連の会員連絡先はこちら

【北信地区】瑞穂木材(木島平村) ☎0269-82-3118 / 中沢木材(中野市新井宮廻り) ☎0269-22-2618 / 土倉製材所(飯綱町) ☎026-253-2320 / おちあい(長野市岡田町) ☎026-227-1520 / 扶桑産業(長野市北長池) ☎026-243-1210 / 肇村材木店(千曲市粟佐) ☎026-272-1182 / 坂田木材(長野市篠ノ井) ☎026-292-3203 / 宮澤木材産業(長野市中曾根) ☎026-239-0588 / 長野森林資源利用事業協同組合(長野市中曾根) ☎026-239-0577 【東信地区】田中製材工業(東御市下之城) ☎0268-67-2139 / 中島木材(佐久市新子田) ☎0267-67-4038 / 田村木材(佐久市新子田) ☎0267-67-3867 / 吉本(佐久穂町) ☎0267-86-4305 / 武重(小諸市) ☎0267-23-8484 / 齋藤木材工業(長和町町) ☎0268-68-3883 / 第三木材(東御市加沢) ☎0268-62-1202 / 小林木材(長和町和田) ☎0268-88-2007 / 和木材(東御市海善寺) ☎0268-62-0222 【中信地区】征矢野建材(松本市笹賀) ☎0263-86-0250 / 国興(松本市寿南) ☎0263-58-2095 / 大蔵木工(松本市宮瀧) ☎0263-32-1960 / 林友(松本市渚) ☎0263-25-0171 / 佐原建設(安曇野市豊科) ☎0263-72-2100 / シンヨー(松本市清水) ☎0263-32-1866 / 小林創建(松本市高宮北) ☎0263-26-6260 / オガサワラ林業(松本市中山) ☎0263-58-5939 / ヒルブランド(安曇野市穂高有明) ☎0263-81-5550 【諏訪地区】カクダイ製材所(茅野市) ☎0266-72-0414 【その他協力先】須高木材協同組合(須坂市) ☎026-245-0281 / 大北木材協同組合(大町市) ☎0261-22-0025 / 上伊那木材協同組合(伊那市) ☎0265-72-2165 / マルト木材(飯田市) ☎0265-52-3349 / 木曾木材工業協同組合(上松町) ☎0264-52-5500 / 志水製材所(南木曾町) ☎0264-57-2212

# 令和4年度 長野県児童・生徒木工工作コンクール 各地区作品持込み・問合せ先

下記の企業にて作品を受け付けております。  
まず、地区代表担当者までご連絡ください。

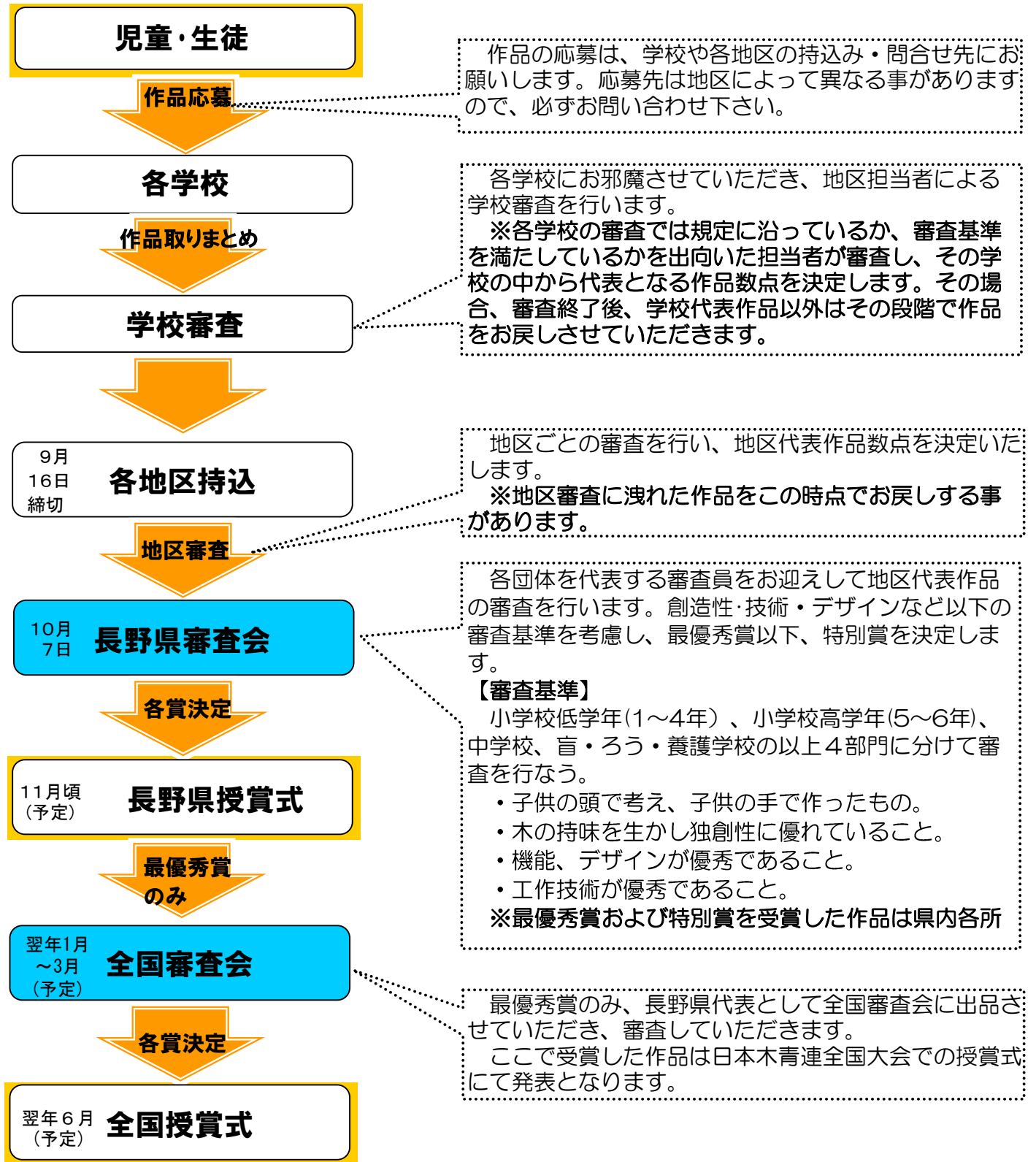
地区		企業名(材木店名)	役職名	担当者	電話番号	F A X	住 所
長 野	長野市(若穂地区除く)・千曲市・上水内郡・埴科郡	坂田木材(株)	常務取締役	坂 田 庄 蔵	026-292-3203	026-292-4119	〒388-8018 長野市篠ノ井西寺尾2772-1
	※持ち込みは右記まで	長野木材協同組合 事務局(金 9:30~16:00)			026-296-6633	026-296-6643	〒381-0003 長野市大字穂保町裏250-5
須 高	長野市若穂地区・須坂市・上高井郡	須高木材協同組合 事務局(月~木 10:00~16:00)			026-245-0281	026-214-5156	〒382-0099 須坂市墨坂2丁目6番1号
高 水	飯山市・中野市・下水内郡・下高井郡	中沢木材(株)	代表取締役社長	中 澤 勝 成	0269-22-2618	0269-22-5632	〒383-0064 中野市新井宮廻り614
上 小	上田市・小県郡・東御市	小林木材(株)		小 林 寿 徳	0268-88-2007	0268-88-2423	〒386-0701 小県郡長和町和田4336-1
佐 久	佐久市・小諸市・北佐久郡・南佐久郡	(株)吉本	専務取締役	由 井 正 宏	0267-86-4305	0267-86-5544	〒384-0611 南佐久郡佐久穂町平林
松 筑	松本市・塩尻市・東筑摩郡	(株)国興	代表取締役	田 中 一 興	0263-58-2095	0263-58-2015	〒399-0027 松本市寿南1-7-22
南 安	安曇野市・南安曇郡	ヒルデブランド(株)	代表取締役	印 出 晃	0263-81-5550	0263-81-5551	〒399-8301 安曇野市穂高有明9973-1
大 北	大町市・北安曇郡	大北木材協同組合 事務局			0261-22-0025	0261-22-0418	〒398-0002 大町市大町3048-2
諏 訪	諏訪市・岡谷市・茅野市・諏訪郡	(有)カクダイ製材所	代表取締役	中 村 孝	0266-72-0414	0266-72-3290	〒391-0013 茅野市宮川216-1
		※出品票はこちらまで FAX. 0266-72-3290					
上伊那	伊那市・上伊那郡・駒ヶ根市	上伊那木材協同組合 事務局(9:00~15:00)			0265-72-2165	0265-72-2166	〒396-0023 伊那市山寺274-1
下伊那	飯田市・下伊那郡	マルト木材(株)	代表取締役	後 藤 武 志	0265-52-3349	0265-52-3348	〒395-0821 飯田市松尾新井7217
木 曾	木曾郡全域(お近くの持込み先までお願いします)	木曾木材工業協同組合		千 村 高 穂	0264-52-5500	0264-52-5501	〒399-5608 木曾郡上松町荻原1579-3
		志水製材所		志 水 賢 司	0264-57-2212	0264-57-2212	〒399-5301 木曾郡南木曾町読書3552-6

ご不明な点がございましたら、各地区の担当者にご連絡いただくか、下記までご連絡ください。

【木工工作コンクール担当】 ■征矢野建材(株) TEL. 0263-86-0250 FAX. 0263-86-4461 担当: 池田 剛  
■長野県木青連事務局(長野県木連内) TEL. 026-226-1471 FAX. 026-228-0580

# 作品受賞までの流れ

本コンクールにおいてのご出品いただいた作品は以下の流れに従って審査され、最終的に全国審査会にて最優秀作品を決定しております。長野県においては、最優秀賞受賞作品が全国に出品されます。





# 長野県児童・生徒木工工作コンクール 作品の出品について

皆さんこんにちは！長野県木材青壮年団体連合会(木青連)です！木青連は長野県児童・生徒木工工作コンクールを主催している団体です。このコンクールに作品を出品するにはいくつか知っておいて欲しい事、守っていただきたい事があります。

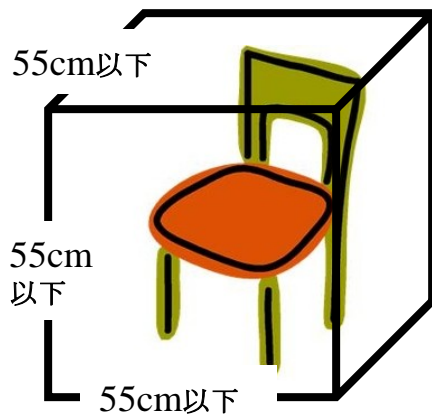
## 1. どんなものを作ればいいの？

テーマは自由です。身近にある「木」を使った作品であれば何でもOK！

## 2. 大きさはどれくらい？

必ず一番長い所(縦・横・高さ)が台を含めて55cm以下になるようにして下さい！

大きい物は失格！(台を含めて55cmを超えるもの)になります。  
また、展開したり、広げて展示する作品も55cmを以下になること。  
例えば、右の箱の中に入る大きさなら大丈夫！



## 3. できた作品はどうすれば？

作品の受付・持ち込み先は自分のいる地区によって違うので必ず確認して下さい。

作品の持ち込み先は「長野県児童・生徒木工工作コンクール趣意書」に出ています。持ち込みの際は事前に連絡を！（保管場所の問題があるので）

## 4. 出品した作品はどうなるの？

まず学校ごとに代表を決める審査を行ってから、地区ごとの審査が行なわれます。地区で優秀な作品を選んだら、今度は長野県の代表を決める審査会が行なわれます。長野県知事賞を受賞した作品は・・・全国の大会に長野県代表として出品！

## 5. 出品するには？

必要な書類があるのでホームページで書類をダウンロードしよう！

<http://n-msr.com/>

裏面に続く

# 困った時は聞いてみよう！

作品の材料や、コンクールの事で困ったり、わからない事があったらここに聞いてみよう！

■長野県木青連の会員連絡先はこちら(必ず木青連の〇〇さんと言ってね)

あなたの家の近くにも木青連に入っている会社があるかも…いろいろ聞いてみてね。

<p><b>【北信地区】</b> 瑞穂木材(株) 0269-82-3118 宮崎さん(木島平村) 中沢木材(株) 0269-22-2618 中沢さん(中野市新井宮廻り) (有)土倉製材所 026-253-2320 土倉さん(飯綱町) (株)おちあい 026-227-1520 山崎さん(長野市岡田町) 扶桑産業(株) 026-243-1210 渋澤さん(長野市北長池) (株)峯村材木店 026-272-1182 峯村さん(千曲市粟佐) 坂田木材(株) 026-292-3203 坂田さん(長野市篠ノ井西寺尾) 宮澤木材産業(株) 026-239-0588 宮澤さん(長野市中曾根) 長野森林資源利用事業協同組合 026-239-0577 宮澤さん(長野市中曾根)</p>	<p><b>【中信地区】</b> 征矢野建材(株) 0263-86-0250 池田さん(松本市笹賀) (有)国興 0263-58-2095 田中さん(松本市寿南) 大藏木工(株) 0263-32-1960 大藏さん(松本市宮瀨) (株)林友 0263-25-0171 石亀さん(松本市渚) (株)シンヨー 0263-32-1866 大和さん(松本市清水) (株)小林創建 0263-26-6260 小林さん(松本市高宮北) オガサワラ林業(有) 0263-58-5939 小笠原さん(松本市中山) ヒルデプラント(株) 0263-81-5550 印出さん(安曇野市穂高有明) (株)佐原建設 0263-72-2100 佐原さん(安曇野市豊科)</p>
<p><b>【東信地区】</b> (有)田中製材工業 0268-67-2139 田中さん(東御市下之城) 中島木材(株) 0267-67-4038 中嶋さん(佐久市) 田村木材(株) 0267-67-3867 田村さん(佐久市) (株)吉本 0267-86-4305 由井さん(佐久穂町) 武重 0267-23-8484 新井さん(小諸市) 齋藤木材工業(株) 0268-68-3883 齋藤さん(長和町) (株)第三木材 0268-62-1202 島田さん(東御市加沢) 小林木材(株) 0268-88-2007 小林さん(長和町和田) 和木材(株) 0268-62-0222 田中さん(東御市海善寺)</p>	<p><b>【諏訪地区】</b> (有)カクダイ製材所 0266-72-0414 中村さん(茅野市)</p> <p><b>【その他協力先】</b> 須高木材協同組合 026-245-0281(須坂市) 大北木材協同組合 0261-22-0025(大町市) 上伊那木材協同組合 0265-72-2165(伊那市) マルト木材(株) 0265-52-3349(飯田市) 木曾木材工業協同組合 0264-52-5500(上松町) 志水製材所 0264-57-2212(南木曾町)</p>

## ■コンクールの問合せ先

コンクールの事で聞きたい事があったら電話してみよう。

- ・長野県木青連 木工工作担当 **0263-86-0250** 征矢野建材(株) 担当:池田
- ・長野県木青連 事務局 **026-226-1471** 長野県木連 まで!



この出品票をコピーして1作品に1枚ずつ添付してください

【木育事業】

# 令和4年度 長野県児童・生徒木工工作コンクール応募作品 出品票

長野県木材青壮年団体連合会  
会長 田村 紘一  
担当副会長 池田 剛

## 《注 意》

- ①学校名は必ず正式名称でご記入ください。  
[例]長野県 ○○市立 ■■小学校 △年
- ②児童・生徒の氏名には必ずフリガナをつけてください。
- ③住所・電話番号欄には、学校の住所・電話番号をご記入ください。
- ④必ず《作品添付用》と、《審査会用》の両方にご記入ください。
- ⑤作品受賞までの流れに関しましては裏面をご覧ください。
- ⑥不明な点がございましたら下記までご連絡ください。
  - 征矢野建材(株) 0263-86-0250 (担当:池田)
  - 長野県木青連(県木連内) 026-226-1471

キリトリ線

## 《作品添付用》

作品名		
フリガナ 学校名	長野県	立 学校
学年	年	
フリガナ 学校住所	〒 -	
フリガナ 氏名		木青連使用欄
学校TEL		
学校FAX		

(※必ず上と同じ内容を、下の欄にもご記入ください。切らずに必ずご提出下さい。)

## 《審査会用》

作品名		
フリガナ 学校名	長野県	立 学校
学年	年	
フリガナ 学校住所	〒 -	
フリガナ 氏名		木青連使用欄
学校TEL		
学校FAX		

締め切り：9月16日（金）

## 令和4年度 長野県児童生徒木工工作コンクール出品集計表 <<学校記入・提出用>>

学校名：\_\_\_\_\_

担当教員：\_\_\_\_\_

学校住所：\_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_

No.	作品名	氏名(ふりがな)	学年

建築金物のプロショップ武田

検索

<https://www.kabu-takeda.com>

中野市大字一本木707-1 TEL0269-22-2185(代)



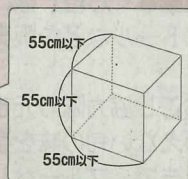
令和4年度木育事業

# 第45回 長野県児童・生徒木工工作コンクール

触れて、創って、知る ウッドコレクション 締切/令和4年9月16日(金) 審査/令和4年10月7日(金)

- 応募資格 / 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん
- 作品基準 / ①テーマ：自由(ただし、木材を主材料として利用加工した総作品であること)
- ②大きさ：1辺が55cm以下(タテ・ヨコ・高さ全て55cm以下)  
※台を含め55cm以下、展開したり、広げて展示する作品も55cm以下
- ③その他：搬入搬出において、壊れにくいもの(破損した場合の責任は負いません)  
出来るだけ県産材を活用してください。

※作品の出品については各学校で受付けております。その他不明点は下記までご連絡頂くか、ホームページまで!



みんなで応募しよう!

身近にある「木」を使った作品を毎年募集して、今年で45回を迎えました。昨年は全国で一番多い約4,347点の作品が出品されています。

主催：長野県木材青壮年団体連合会 ☎026-226-1471(県木連内)

ホームページはこちら → [もくせいれん](#) 検索

■共催(予定) / 長野県 中部森林管理局 (公財)長野県緑の基金 長野県産材振興対策協議会 長野県木材協同組合連合会  
■後援(予定) / 長野県教育委員会 (一財)長野県建築住宅センター 長野県森林組合連合会 NHK長野放送局 SBC信越放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州 abn長野朝日放送 長野エフエム放送 新建新聞社 長野県民新聞社

限りなく続く  
フラットネスな  
世界。

半導体加工装置の専門メーカー  
**EM 不二越機械工業株式会社**  
長野市松代町清野1650 TEL026-261-2000(代表) FAX026-261-2100

**赤**  
7/7 ~ 7/10  
4日間限定

※他サービス・割引併用不可  
グループ全員お一人様1杯無料

ビール  
レモンサワー  
ハイボール  
のどれか  
のみ利用可能

赤から 東和田店・川中島店・上田店・佐久平店

美しく、心に響く情報を



大日本法令印刷株式会社

〒380-0935 長野市中御所3-6-25  
<https://hourei.co.jp/>





BC 信越放送 026-237-0500

4.20買物◇買物 1E TIME, 類発また石川5強...

8 NBS 長野放送 026-227-3000

4.20 因◇25テレショップ 4.55めざましテレビ全見せ...

1 NHKBS1 0570-066066

5.00世界N◇時論◇世界N 8.00キャッチ世界トップN...

3 NHKBSプレミアム 0570-066066

5.00音楽◇6.15文自転車旅 6.45文美の壺園「鶴」...

テレビ東京 03-6632-7777

4.23ものスタ 5.45モーニングサテライト 7.05おはスタ...

第45回 長野県児童・生徒木工工作コンクール 今年も開催! みんなで応募しよう!

4 BS日テレ BS 4K 0570-040-040

4.00N◇買物◇歌仲間◇買 8.00アンパンマンくらぶ◇...

5 BS朝日 BS 4K 03-5412-9200

4.00客船◇音楽◇DEEP 5.55ショップ◇因◇通販...

6 BS-TBS BS 4K 03-3224-6000

4.00N◇歌◇落【4K】買 6.00ショップ【4K】怪峰...

C 信越放送 6-237-0500

1.20買物◇買物 TIME、え酷暑きょうもぎ注意!?熱中症新「野菜予報、ゆめ」に?るか未来を体験ット! 2022年ヒット商品特集産人とロケの匠ト対決も...好評ブ本気肉調査隊て映えるモテ肉モクの激シブ肉ビショッピング! 厳選! 耳寄り! 得情報満載! おびュースを解説! 料理「ズッキーローサー」び 文N&因▽5日連続猛暑日え観測の伊勢崎継・暑さ対策は梅雨明けの影響今「全面安、も場は悲鳴と困惑だせテレビ」農村に泊まろう西藏で職人体験でソバと川下り也歩いて名物をき▽N◇HOTタっ迫いつまで? 虎の注意報発令も40度近くて異変が続出! ..パン職人困る..レモネード? ニュースワイド候補者に問う...対策は▽姨捨で一◇パルセイロあの問題児の特待生に!! 島ハイレベル戦しく全員ホメる! ゴムはんこ査定なアンミカ顔察モニタリング! ズニーシ〜で奈と仲良くなるサプライズ旅!! トラクション&一との記念撮影太郎NAOTO車発に川口絶叫最大!! 生徒先生でキンプリ岸に象を仕掛けたらS学校心霊◇N吉THE夜会夏麵...決定戦

8 NBS長野放送 026-227-3000

4.20 因◇25Dストア 4.55めざましテレビ全見せ 5.25めざましテレビN因 危険な暑さどうしのぐ飲食店でお得猛暑割も▽恐怖トレーラー横転▽ゆず25周年の思い 00因めざまし8 猛暑列島40℃超えの街徹底取材高温で果樹園深刻被害熱中症でぞれつ回らず手のひら冷却が効果的▽仮面ライダー女優がストーカー被害を告白 9.50因Nノンストップ! 大阪が生んだ高級鶏肉「河内カモ」値段当て▽フランス版カメラを止めるな! を独占解禁▽飯尾...ついに米なし 11.20暮らし◇25多因さんぽ 30因Nニュースデイズ 45因NポップUP! 緊急夏の弁当これはヤバい食中毒◇豆知識クイズ▽極上バタースイーツレーズン&じょうゆ!? ▽羽田美智子自ら運営話題ネット店の裏側▽EXILE橋ケンチTETSUYA生出演 2.45ふるさと スパイス飯▽3.00長野N▽寝具 3.15 テレショップ 45手参議院選挙政見経歴放送「長野」◇ウマイ 4.45みんなの信州サキドリ 50因Nイット! 猛暑で電力供給網渡り▽議員ボーナス支給へ雲隠れ議員も取得か? 6.09 NBSみんなの信州 猛暑で「節電、県内も▽広島でも人気! 牛乳一筋100年企業の強み 00因VS魂 高級フルーツの値段に千葉雄大が迷走ギャグの流行順で瀬戸康史の意外な素顔が! ▽伊藤沙莉の好プレーに勝地涼が衝撃一言!? 00因アンピリバ!! 爆笑ハッピー!! 家族SP! ▽イカ釣り親子結末▽耳が聞こえない母へ娘が届けた感謝の歌声 54 NBSN因 00因千鳥のクセがスゴいネタGP 寺島しのぶ&岡崎体育が全力コラボ日谷の新曲チョコプラ三四郎コロチキに爆笑 54 因 00因やんごとなき一族「最強の味方とともに

1 NHKBS1 0570-066066

5.00世界N◇時論◇世界N 8.00キャッチ世界トップN ウクライナの最新情勢 9.00天皇杯サッカー◇50N 10.10MLB・ウィークリー 10.30因大リーグ Wソックス×エンゼルス(10.50~11.50 102ch) (変更あり) ◇キャッチ 11.50因MLB Wソックス×エンゼルス 大谷先発予定(延長時102ch) (102ch 0.25因世界N) (変更あり) 2.00キョウト◇30Nアジア 3.00因世界ドキュ選 サカス・カトマンズ 4.00因ワールドNアメリカ 5.00因Dear にっぽん 5.30因クローズアップ現代 6.00多因プロ野球~マツダ 広島×ヤクルト 宮本慎也(延長あり) 【中止】MLB歴代 9.30空港ピアノ 10.00因国際報道 どうなるフィリピンの麻薬戦争 10.50ワースポ×MLB 大谷・二刀流で活躍を 11.40BSN4K+ふるさと 0.00因北海道推し! 道道・30DAYS 1.00散歩◇サインス◇NY

3 NHKBSプレミアム 0570-066066

5.00音楽◇ホットスポット 6.45文朝ごはんL a b. 團 7.15多文芋たごなんさん 7.30多文ちむどんどん 7.45心旅 陸奥湾絶景紀行 8.00因コスミック ずばるとアルマ特別編 9.00Pカフェ選 ベネチア 10.54因地球イチバン ミニ 11.15ファーム 団◇45心旅 0.00グレートネイチャー選 0.30鉄道旅 秩父鉄道! 1.00因「陽のあたる場所」 M・クリフト(字幕) 3.05因ねこ育ていぬ育て 定点カメラでのぞき見 ▽誕生日に猫が来た! 在宅勤務の父親が?! 4.35ぐっさんトラック旅 5.50因空からクルージング 6.00街歩き 新作プラハ 7.00心旅 陸奥湾絶景紀行 7.30いいじゅー!! 漁師 8.00因岩光昭ネコ歩き選 軽井沢▽別荘で優雅に 9.00因フランケンシュタイン選 20世紀最大醜聞 10.00因コスミック選 太陽系・太陽と水星 11.00因ヒューマニエンス 団 「絶滅」した人類たち 0.00因Pカフェ 団 ベネチア 幻想カーニバル◇歩

テレビ東京 03-6632-7777

4.23ものスタ 5.45モーニングサテライト 7.05おはスタ 7.30秒でN◇因シナぷしゅ 8.00ハーフタイムツアーズ 8.15因人生最高の贈り物 9.11なないろ◇21N因ナビ 9.26なないろ日和! 11.13因屋サテ 11.40因屋めし旅 東京中野 尺八職人さん祝い飯 ▽マクロポリ辛おろし 1.40因因「アウトロー」 (1976年) クリント・イーストウッド ジョン・バーノンほか 3.40よじごじDays 4.54Nゆうがたサテライト 5.00買物◇10因虎ノ門市場 5.30多因強行犯係樋口顕 団 6.25因タクシー運転手さん うまい店に連れてって 7.58因なぜそこ? 日本人! ▽超山奥の住人SP!! 9.54因NWBS 11.06因カンパリア宮殿 11.55みんなのスポーツ 0.00因じっくり聞いたタロウ 0.30因闘ドラマ量産型リコ 1.00因イケサマ◇シン人種 2.05きらきらアフロTM 2.35買物◇絶メシ 浜津 3.35ほほ◇歌◇ラビッツ 団

第45回 長野県児童・生徒木工工作コンクール 今年も開催! みんなで応募しよう! 触れて、創って、知る ウッドコレクション 主催: 長野県木材育壮年団体連合会 026-226-1471 (県木連内) ホームページはこちら - むくせいれん 検索

4 BS日テレ BS 4K 0570-040-040

4.00N◇買◇あさうた◇買 8.00アンパンマンくらぶ◇買物【4K】 8.00買物 10.00大江戸犯科帳◇買物 11.30だまされても夢心地◇買【4K】 11.30買◇音 1.00馬医(字幕)◇買物 2.30三国志(字幕)◇買物 4.00韓・復讐の花束◇買物 6.00ジュエリープレミアム 6.30映画「花よりもなほ」(05年)は枝裕和監督 岡田准一 宮沢りえほか 9.00三宅裕司ふるさと探訪 栃木の宿場町・佐野市 10.00因N深層NEWS 中国監視社会の実態 11.00恋愛革命◇トモダチG 0.00バンドリ2nd◇買物【4K】 0.00買物◇音 1.30買物【4K】 2.0064楽

5 BS朝日 BS 4K 03-5412-9200

4.00客船◇音楽◇通販◇因 7.00アーリーショップ 8.30パンドラの世界 字幕 10.00因買物生◇N◇因買物 0.00因屋ドラ 牟田刑事官 事件ファイル 1.55ショップストリート 2.54因暴れん坊将軍 3.56買物◇因News◇因 4.57因必殺商売人 6.00因オゴカン「村雨晃司の事件簿23年後に動き出した殺人」寺脇康文 8.00因因新鉄道・絶景の旅 函館本線・山線◇絵本 9.00因迷宮グルメ駅前食堂 インドネシアの旅◇幸 10.00カーグーラ 電動SUV 10.30因町山智浩のアメ知る 11.00ハッピーバースデー 0.00ショップ【4K】 紀行

6 BS-TBS BS 4K 03-3224-6000

4.00N◇歌◇買【4K】 買 6.00買◇韓・秘密の森◇買 9.59因カードGメン・小早川茜7「愚か者の涙」 0.00買◇韓ドラ【4K】 買 1.55因浅見光彦シリーズ⑩ 沢村一樹 宝生舞ほか 4.00バレーボール・女子「日本×オランダ」 6.00プロ野球~横浜 De NAX阪神 【中止】買物◇30京都 7.00因探偵左文字進9 9.00昭和歌謡ベストテンD X 永六輔の名曲選! 10.00因釣り百景 七色ダムで大型バスに挑む! 11.00世界陸上オレゴン ▽サニブラウンが激白 0.00テレビショッピング 3.00因シェアするら◇30夢



# 暑中お見舞い申し上げます



素材生産事業、森林整備事業

**有限会社 高遠興産**

代表取締役 **林 敏行**

〒396-0023 長野県伊那市山寺一五五八一  
TEL (0265) 961-0073  
FAX (0265) 711-8308

立木買取り・生産販売・支障木処理  
特殊材注文販売・産業廃棄物処分業  
木材森林整備認定事業体

**平澤林産有限会社**

代表取締役 **平澤 照雄**

長野県伊那市西春近四一〇五番地  
TEL (0265) 781-2238  
FAX (0265) 711-5775

**長野地方緑化  
推進委員会**

会長 **長山村 弘**

役員 一同

**栄村森林組合**

代表理事 **櫻 沢 俊一**

組合長 **櫻 沢 俊一**

役員 一同

**北信州森林組合**

代表理事 **清水 侃**

組合長 **清水 侃**

役員 一同

**株式会社 キーテック**

代表取締役社長 **中西 宏一**

〒136-0082 東京都江東区新木場一七一二二  
新木場タワー八階  
TEL (03) 5534-1374  
http://www.key-tec.co.jp

損害保険代理店  
環境事業計画施工・墓石

**株式会社 モリレン長野**

代表取締役 **田中 高德**

専務取締役 **室賀 秀樹**

長野市中御所岡田町三〇一六  
TEL (026) 267-6636  
FAX (026) 226-1018

**大栄産業株式会社**

松本市波田二九五一一三  
TEL (0263) 925-0501  
FAX (0263) 921-5809

ホームページアドレス <http://www.daisangy.co.jp>

唐松・杉・桧各種素材丸太・製材品  
組建物・看板・加工一般・施工一式  
新型インサイジング  
(角材及び円柱可能)  
防腐加圧処理(ACQ・その他)  
※加圧処理は、長さ160mまでできます  
ウッドレリーフ製作

グリーンプラマーク取得  
地球にやさしい  
生分解性プラスチック用の  
生分解性フラスコ用  
の生分解性フラスコ用  
の生分解性フラスコ用

**信濃化学工業株式会社**

〒381-0045 長野県長野市桐原1-2-12  
TEL 026-243-1115  
FAX 026-243-1520

**北アルプス森林組合**

代表理事 **割田 俊明**

組合長 **割田 俊明**

役員 一同

公益財団法人

**長野県緑の基金**

理事長 **中條 智子**

役員 一同

カラ松日本一を目指します

**東信木材センター  
協同組合連合会**

小諸市甲字鞍掛四七四七  
TEL (0267) 231-0887  
FAX (0267) 221-2933

林業用薬剤と  
グリーンメンテナンス  
松くい虫防除・芝地総合管理  
非農耕地雑草防除

緑と土と水を守る

長野県森林指定期業者  
長野県林業薬剤防除協会員

**株式会社 アクロ信州**

本社 0268-23-2135 FAX0268-23-2153  
中信営業所 0263-77-8863 FAX0263-77-8893

サンドキーパーマット  
カゴ枠・大型カゴ枠・パネルフトン籠

**株式会社 酒井工業所**

松本市村井町南三丁目〇番一四号  
TEL (0263) 581-3200  
FAX (0263) 861-3881

令和4年度木育事業

**第45回 長野県児童・生徒木工工作コンクール**

触れて、創って、知る ウッドコレクション 締切/令和4年9月16日(金) 審査/令和4年10月7日(金)

●応募資格 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん  
●作品基準 ①テーマ:自由(ただし、木材を主材料として利用加工した総作品であること)  
②大きさ:1辺が55cm以下(タテ・ヨコ・高さ全て55cm以下)  
※台を含め55cm以下、展開したり、広げて展示する作品も55cm以下  
③その他:搬入搬出において、壊れにくいもの(破損した場合の責任は負いません)  
出来るだけ県産材を活用してください。  
※作品の出品については各学校で受付けております。その他不明点は下記までご連絡頂か、ホームページまで!

みんなで応募しよう!  
身近にある「木」を使った作品を毎年募集して、今年で45回を迎えました。昨年は全国で一番多い約4,347点の作品が出品されています。

主催: **長野県木材青年団体連合会** ☎026-226-1471(県木連内)  
■共催(予定)/長野県 中部森林管理局 (公財)長野県緑の基金 長野県産材振興対策協議会 長野県木材協同組合連合会  
■後援(予定)/長野県教育委員会 (一財)長野県建築住宅センター 長野県森林組合連合会 NHK長野放送局 SBC信越放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州 abn長野朝日放送 長野エフエム放送 新報新聞社 長野県民新聞社

ホームページはこちら → [もくせいれん](#) 検索

## 長野県 みどりの情報サービス

長野県緑の基金では皆様からお寄せいただいた「緑の募金」による森づくりと人づくりの支援を行っています

トピックス

2022年04月27日:

### ■木工工作コンクール受賞者が地元御代田の町長に受賞報告をしました。



浅井太鷗さん小園町長と記念撮影

令和3年度（第44回）長野県児童・生徒木工工作コンクールで、長野県緑の基金理事長賞を受賞されました 浅井 太鷗（たお）さん（御代田北小学校 当時5年生）は、令和4年4月25日月曜、ご家族とともに小園御代田町長を訪れ、受賞を報告しました。訪問時には、御代田北小学校長、長野県緑の基金副理事長も同席しました。作品は御代田町役場の施設内に展示されます。



作品名「バベルの塔」

2022年04月23日:

### ■令和4年度 森林教室開催のお知らせ

令和4年度 森林教室を開催いたします。

詳細については4月23日(土) 信濃毎日新聞朝刊にも掲載しています。

(掲載記事内容はこちら→[R4森林教室新聞掲載 \(4.23\)](#))

# 東信

## 樹皮で「バベルの塔」優秀賞

### 全国児童・生徒木工工作コンクール

## 御代田北小6年浅井君 独創性評価



樹皮で作った「バベルの塔」と浅井君

御代田町の御代田北小学校6年、浅井太鷗君(11)の木工工作「バベルの塔」が、第46回全国児童・生徒木工工作コンクール(日本木材青壮年団体連合会主催)で優秀賞に選ばれた。旧約聖書に登場するバベルの塔を針葉樹の樹皮で表現。その独創性が評価された。町の複合文化施設「エコーみよた」のロビーに26日まで展示している。

高さ約50センチで、昨年の夏休みに約2週間かけて作った。まきを割る時に出た樹皮で小さなパーツを作り、らせん状に丁寧に接着。内部に懐中電

灯を入れて照らし、暗がりでも鑑賞できる。塔の形は、図書館で借りた絵本や塔を描いた絵画を参考にした。昨秋に作品を募集した小中

学生対象の県児童・生徒木工工作コンクール(応募4347名)で長野県緑の基金理事長賞を受け全国コンクールへ。1万6035点の中から最優秀賞(4点)に次ぐ優秀賞(20点)の一つ「Tree Rings賞」に選ばれた。

3年生から毎年、夏休みの課題で木工作品を制作している。3年生の時の作品「ティラノサウルスのあたま」は県コンクールで最高賞の県知事賞を受賞しているが、全国での受賞は初めて。父の俊克さん(44)は「樹皮をどう貼り付けるか試行錯誤していた。成長を感じた」と話す。

「きれいな、らせん状になるようにこだわった。賞が取れてうれしい」と浅井君。今年の夏休みは、椅子や机などの「長く使えるもの」を作りたいと話している。

全国コンクールでは、県内から他に、南木曾町南木曾小6年(昨年度の応募時)の松下世さんの「めでたい」、南箕輪村南部小4年(同)の北原彩葉さんの「音ぶのかさたて」も優秀賞に選ばれた。

き



うきんしん

第47回

# 全国児童・生徒 木工工作コンクール

主催 日本木材青壮年団体連合会

募集期間 令和4年9月4日～12月12日



[www.mokuseiren.jp](http://www.mokuseiren.jp)

# 第47回 全国児童・生徒 木工工作コンクール 応募要項

## 応募詳細

### 応募期間

令和4年9月4日から令和4年12月12日までにお申し込みください。

### 応募作品

**第1部門** 小学校低中学年（1～4年の児童）の部

**第2部門** 小学校高学年（5・6年の児童）の部

**第3部門** 中学校（全生徒）の部

以上の小・中学校の児童・生徒が在籍学校を通じて、個人またはグループで応募してください。

### 応募方法

全国児童・生徒木工工作コンクールは、各都道府県によって応募方法が異なります。

#### 応募方法1 木工工作コンクールを実施している都道府県の場合

都道府県単位での応募となります。

対象地域の木工工作コンクールでの優秀作品を、指定のエントリーシートにて応募します。募集点数については、各都道府県ごとに各部門2点ずつ総計6点までとします。

（各都道府県の日本木材青壮年団体連合会会員が行ないます）

#### 応募方法2 木工工作コンクールを実施していない都道府県の場合

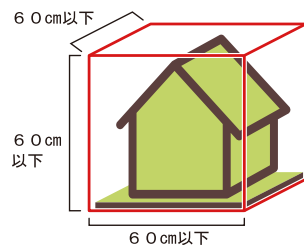
各団体・学校単位での応募となります。

応募希望者が応募作品を、指定のエントリーシートにて各自応募します。（対応は各団体・学校単位でお願い致します）

エントリーシートは日本木材青壮年団体連合会公式Webサイト内の木工工作コンクール特設ページに用意いたします。各自でダウンロードして頂き、記入例に従って記入をお願いいたします。

## 作品に関して

木材を主材料として利用・加工した創作品で、作品の大きさは**縦・横・高さ、それぞれ台を含めて60cmを超えないもの**とします。



### ご注意ください!

下記は残念ながら**審査対象外**になります。

- (1) 梱包を含め60cmを超える作品
- (2) 展開したり、広げて展示する作品で60cmを超える作品

**審査方法** 審査については、全部で3段階の審査があります。

### 各都道府県審査

各都道府県で開催される木工工作コンクールにて審査を行います。審査方法については各都道府県によって異なります。

### 1次審査

 令和5年1月10日(水)頃予定

各都道府県よりエントリーされた作品に対して、審査委員会がエントリーシートによる書類審査を行います。一次審査を通過した作品については後日各学校にご連絡いたします。

### 最終審査

 令和5年3月4日(土)頃予定

一次審査を通過した作品に対して、審査委員会が現物を確認し厳正に審査を行います。

**審査委員長** 全国造形教育連盟

**審査委員** 教育行政関係者／林野行政関係者／日本放送協会（NHK）／全国木材組合連合会／日本木材青壮年団体連合会／日本木青連 木育創造委員会(敬称略・順不同)

※その他、審査会実施地近郊の造形教育に関わる方を若干名予定しています。

### 結果伝達

 令和5年3月24日(土)頃予定

### 表彰式

 令和5年6月3日(土)

## 審査のポイント

各学年に応じた技能や発想に留意し、下記の各項に基づき評価を致します。

1. アイディアに独創性があるか
2. 再現性・写実性に優れているか
3. 木の自然の良さや、適材の部位で表現されているか
4. デザイン・機能が優れているか

## 表彰に関して

応募作品は、小学校低中学年（1～4年）、小学校高学年（5、6年）、中学校（全生徒）の3部門に分け、それぞれの優秀作品に対して表彰を授与します。グループでの申込みの作品についてはグループ名で表彰します。各賞については継続申請中です。昨年の結果につきましては日本木青連のHPをご確認ください(7月中旬に掲載予定)。

### お問い合わせ

○日本木材青壮年団体連合会 木育創造委員会 委員長 久保 光一郎 〒920-0211 885-0084 宮崎県都城市五十町 1388 番地 久保産業株式会社(株)内 FAX 0986-22-4470 / メール kou@kubo-sangyo.jp (お問い合わせはメールかFAXにてお願いいたします。)

○日本木材青壮年団体連合会事務局 〒135-0041 東京都江東区冬木 6-14-102

TEL 03-5620-4806 / FAX 03-5620-4809(こちらは受付のみとなります。ご返答は後日折り返しさせていただきます。)

各都道府県コンクールについては、令和4年7月中旬頃から12月上旬の間で、各都道府県において当会会員団が主催で行われます。

(詳細は日本木材青壮年団体連合会公式 Web サイト内の木工工作コンクール特設ページをご確認の上、コンクール実施県担当者一覧に記載されている各地域の担当者にお尋ね下さい)

応募に際しご提供いただいた個人情報は、「全国児童・生徒木工工作コンクール」の業務運営に必要な範囲でのみ使用させていただきます。

また、入選作品は、当団体広報誌、一般紙、Web サイト等で学校名、氏名、学年を含めて公開する場合があります。

# 趣 意 書

## 第 47 回全国児童・生徒木工工作コンクール

### テーマ 『ともに つくろう』

「木」は太古の昔より我々人間の生活と大きな関わりを持っています。数十年もの時間を掛けて成長する中で伐採期を迎えるまでは二酸化炭素を吸収し酸素に変え、生態系を維持する等、多面的な機能を担ってくれています。また伐採後に木材となった後も住宅をはじめとする我々の生活の多くを支えてくれています。

世界規模での SDG s 推進や、大きく取り上げられたウッドショックの影響。様々な業界がこれまで以上に「木」に注目しています。また、木材利用の新技术開発が日々進んでおり、従来使用されていなかった場所・物にも木材を利用する「木質化」も進められています。

私たち日本木材青壮年団体連合会では、子ども達の創造力を伸ばし、木をもっと身近なものにしてもらいたいとの思いから、長年に渡って全国児童・生徒木工工作コンクールを開催しています。一昨年より続くコロナ禍による制限下で生活様式が変わる中であっても、木と共に、また家族や学校の友達と共に楽しむ事を大切にしてもらいたい。そのような思いから、今年度の開催テーマは「ともに つくろう」とさせて頂きました。

木と一口に言っても、木には様々な樹種・色・硬さなどの特徴や部位があります。ただ木を使って何かを作るだけでなく、本コンクールの参加者の皆さんには、先生や友達、家族の皆さんとコミュニケーションを取る中で作品を考え、様々な「木」を用いて表現して貰う事も、大きな狙いの一つです。子ども達の自由な発想こそが「木の新たな可能性」の創造に繋がって行くのではないかと考えています。

また木工工作を通じて多くの子ども達が「木」に触れて、感受性や創造性に富んだ大人に成長してくれること、そして将来温もりある社会を築いてくれることを願い、家族、学校関係者、行政、木材関係者はもとより、子どもから大人まで多くの人を巻き込んで皆で「木」の可能性について考える端緒としていければと思います。

日本木材青壮年団体連合会  
令和4年度会長 川井 博貴  
副会長 吉田 勝利  
委員長 久保 光一郎

主催：日本木材青壮年団体連合会

後援：(継続申請中) 文部科学省・農林水産省・NHK・全国造形教育連盟

全国木材組合連合会

協賛：(継続申請中) 株式会社ウッドワン、株式会社 Tree to green、カリモク家具株式会社



# 第47回全国児童・生徒木工工作コンクール実施要綱

## ●実施日程

一次審査	令和5年 1月10日(水)頃(予定)
最終審査	令和5年 3月4日(土)頃 開催場所：宮崎市
結果伝達	令和5年 3月24日(土)頃(予定)
表彰式	令和5年 6月3日(土) 表彰式会場：高知市

(※日本木材青壮年団体連合会 第68回 全国会員高知大会にて)

## ●審査委員

委員長	全国造形教育連盟
委員	教育行政関係者
	林野行政関係者
	日本放送協会(NHK)
	全国木材組合連合会
	日本木材青壮年団体連合会
	株式会社 ウッドワン
	株式会社 Tree to Green
	カリモク家具 株式会社
	日本木青連 木育創造委員会 敬称略・順不同

※その他 審査会実施地近郊等の造形教育に係る方を若干名。

## ●表彰

応募作品は、**小学生低学年の部**(1～4年)、**小学生高学年の部**(5,6年)、**中学生の部**(全学年)の3部門に分け、それぞれの優秀作品に対して下記の表彰を授与する(一部予定を含む)。グループにて申し込みの作品についてはグループ名とする。

・文部科学大臣賞	全部門で	1点
・農林水産大臣賞	各部門で	1点 合計3点
・林野庁長官賞	各部門で	1点 合計3点
・NHK会長賞	全部門で	1点
・全国造形教育連盟 委員長賞	各部門で	1点 合計3点
・全国木材組合連合会 会長賞	全部門で	1点
・ウッドワン賞	各部門で	1点 合計3点
・Tree Rings 賞	各部門で	1点 合計3点
・カリモク家具賞	各部門で	1点 合計3点
・日本木材青壮年団体連合会 会長賞	全部門で	1点以上
・日本木青連 木育創造委員長賞	全部門で	1点以上

●応募部門

- 第1部門 小学校低学年（1～4年の児童）の部  
第2部門 小学校高学年（5，6年の児童）の部  
第3部門 中学校（全生徒）の部

小・中学校の児童・生徒が在籍学校を通じて、個人またはグループでの応募とします。

●応募期間

令和4年9月4日（予定）から令和4年12月12日（予定）まで

●応募詳細

全国児童・生徒木工工作コンクールは、各都道府県によって応募方法が異なります。

パターン① 木工工作コンクールを実施している都道府県の場合

都道府県単位での応募となります。

対象地域の木工工作コンクールでの優秀作品を、指定のエントリーシートにて応募します。

募集点数については、各都道府県、各部門2点ずつ総計6点とします。

（対応は各都道府県の日本木材青壮年団体連合会会員が行ないます）

パターン② 都道府県単位で木工工作コンクールを実施していない場合

各団体・学校単位での応募となります。

応募希望者が応募作品を、指定のエントリーシートにて各自応募します。

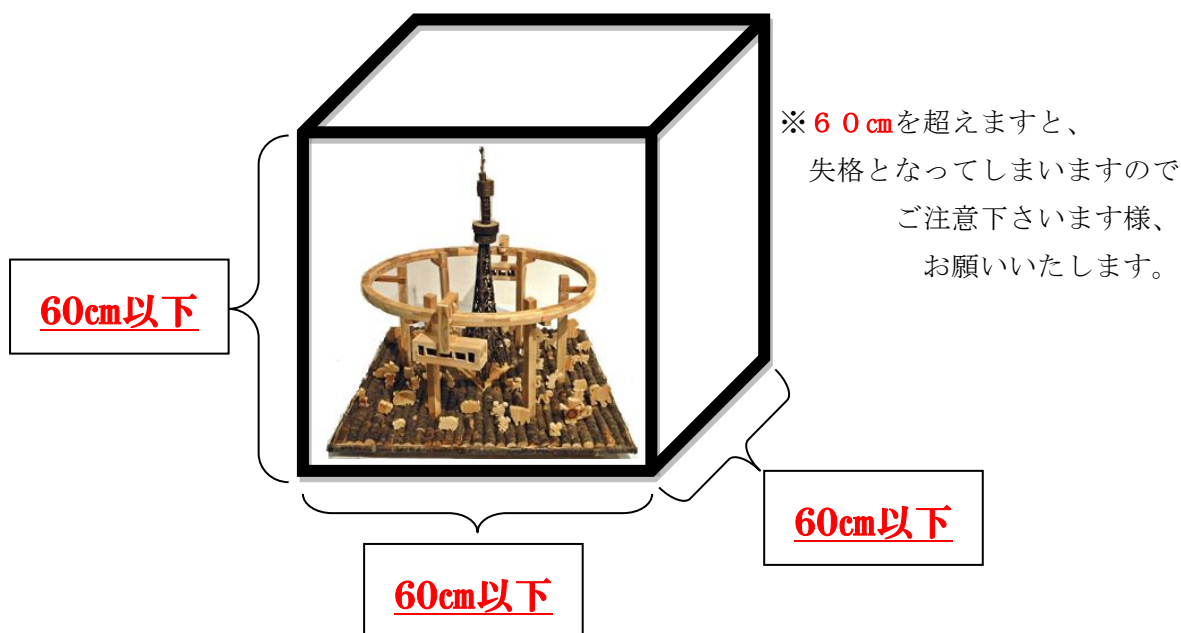
（対応は各団体・学校単位でお願い致します）

エントリーシートは日本木材青壮年団体連合会公式 Web サイト内の木工工作コンクール特設ページに用意いたします。各自でダウンロードして頂き、記入例に従って記入をお願いいたします。

●作品基準【重要】

- ・木材を主材料として利用・加工した創作品であること
- ・作品の大きさは縦・横・高さ・台を含めて**60cm**を超えないものであること  
下記は残念ながら審査対象外になります。ご注意ください。
  - ・ 梱包を含め**60cm**を超える作品
  - ・ 展開したり、広げて展示する作品で**60cm**を超える作品

## ※作品基準【図解】



## ※その他注意事項

《注1》作品の間違いを防ぐため、**作品写真**を添付して下さい。

※写真は必ず5面（前・後・左・右・上）撮影ください。

《注2》作品の発送をする際は、必ず梱包をした上で発送して下さい。また、作品が輸送で壊れないよう十分な緩衝剤（発泡系や新聞紙等）をお願いいたします。

《注3》梱包は必ず**1作品1梱包**ずつ別々をお願いいたします。

《注4》梱包済み作品を大型ケースに同梱した、コンテナ発送はご遠慮ください。

《注5》輸送時に破損する事故が多く発生しております。私たちも細心の注意を払ってご返送いたしておりますが、万が一破損した場合は大変恐縮ですが、ご容赦くださいますようお願いいたします。特にグルーガン等を使用した場合、特性上輸送時の衝撃で接着が剥がれやすいのでご注意ください。

## ●審査方法

審査については、全部で3段階の審査があります。

### 1. 各都道府県審査

各都道府県で開催される木工工作コンクールにて審査を行います。

審査方法については各都道府県によって異なります。

### 2. 一次審査

各都道府県よりエントリーされた作品に対して、審査委員会がエントリーシートによる書類審査を行います。

一次審査を通過した作品については後日各学校にご連絡いたしますので、現物の提出をお願いいたします。送付先・時期については、当委員会より各会団体もしくは各団体・学校へ連絡致します。（1月中旬を予定しています）

**※送付費用については、応募される各団体・学校の負担といたします。**

### 3. 最終審査

一次審査を通過した作品に対して、審査委員会が現物を確認し厳正に審査を行います。

#### ●審査のポイント

今年度のコンクールのテーマは『ともに つくろう』です。

新型コロナウイルスの影響で、学校での活動や友達との交流の機会に大きな制限が続いています。そのような状況であっても、子どもたちに木と共に、友達や家族と共に楽しむという視点で、自由に表現して貰う事を目的としています。

木には樹種・色・木目など様々な部位や特徴があります。是非ともお友達や先生、家族で話し合う所から作品テーマを決めて頂きたいと思います。「ともに」楽しみ、それを木材で表現する事にチャレンジして下さい。

本コンクールを通して、様々な人とコミュニケーションを取りながら作品を決定し、自由な発想で表現することを大切に考えております。子どもたちの「創造力」を審査会では大きく評価して参ります。

各学年に応じた技能や発想に留意し、下記の各項に基づき評価を致します。

1. アイディアに独創性があるか
2. 再現性・写実性に優れているか
3. 木の自然の良さや、適材の部位で表現されているか
4. デザイン・機能が優れているか

#### ●個人情報の取り扱いについて

- ・応募に際しご提供いただいた個人情報は、「全国児童・生徒木工工作コンクール」の業務運営のみに使用させていただきます。
- ・入選作品は、当団体広報誌、一般紙、Web サイト等で学校名、氏名、学年を含めて公開する場合があります。

●問い合わせ先

○日本木材青壮年団体連合会 木育創造委員会 委員長 久保 光一郎

〒885-0084 宮崎県都城市五十町 1388 番地

久保産業株式会社内

FAX : 0986-22-4470

Mail : kou@kubo-sangyo.jp

※お問い合わせはメールか FAX にてお願いいたします。

○日本木材青壮年団体連合会 事務局

〒135-0041 東京都江東区冬木 6-14-102

TEL 03-5620-4806 FAX 03-5620-4809

※こちらは受付のみとなります。ご返答は後日折り返しさせていただきます。

○各都道府県コンクール事務局

都道府県コンクール実施については令和 4 年 7 月中旬頃から 12 月上旬頃の間で、各都道府県において各県の会団が主催で行われます。

(詳細は日本木材青壮年団体連合会公式 Web サイト内の木工工作コンクール特設ページをご確認の上、コンクール実施県担当者一覧に記載されている各地域の担当者にお尋ね下さい)

## 信州山の日2022(木工教室)事業計画(案)

## ★ 事業計画書

議案作成者 会長 田村 紘一

事業名称：信州山の日2022 木工教室  
 担当副会長：田村 紘一  
 事業主体：長野県木材青壮年団体連合会  
 実施予定日時：令和4年 7月24日(日) 10:00～16:00  
 実施予定場所：国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区) ※雨天決行  
 対象者：信州山の日イベント来場者  
 趣旨・目的：県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。

事業内容：  
 ・長野県林務部は、国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)で開催されるイベントの中で、7/24(日)信州山の日イベントを実施する。  
 木青連は、県が主催する「信州山の日イベント」の中で木工教室を開催。  
 ・県林務部は、隣接テントにて、箸づくりを行う。  
 ・木青連は、イス作りを行う。  
 イス作り(イスキット) 60セット+予備5セット

■出展場所は入口広場  
 ■新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、食堂等はやっていないので、昼食を持っていくことが必要。  
 ■雨天の場合は、レンタル棟をお借りすることも可能。スペースが限られ屋内にもなるので、密にならないよう人数調整が必要か。レンタル棟はメインの動線から少し外れるため、箸づくりブースは入口広場に残し、誘導・案内を行う。

準備スケジュール：出席人数等の確認 ※報告期限 7月19日(火)まで

※材料：カラマツ会 道具・コンパネ・ブルーシート：松本材青会  
 ■木青連  
 ・材料(イスキット 65セット)  
 ・木工工作道具(ノコギリ、カナヅチ、釘抜き、釘、紙ヤスリ、キリ、木工用ボンド)  
 ・ブルーシート  
 ・コンパネ  
 ・掃除道具(ほうき、ゴミ袋等)  
 ・スタッフの昼食(お弁当等)  
 ■会場運営側  
 ・テント3張り借用(2間×3間)

実施プログラム：8:30 資材搬入・準備  
 10:00～ 開始  
 ①10:00～11:00 ②11:10～12:10 ③12:20～13:20  
 ④13:30～14:30 ⑤14:40～15:40

※1家族1脚限り  
 ※搬入経路は昨年と同じ。  
 ※テント横付けは難しいが、近くまでいっておろす。  
 ※密にならないよう人数調整が必要。

予算：別紙の通り

担当者：会長 田村 紘一  
 外部協力者：(株)共立プランニング 日野原氏  
 [連絡先] TEL:026-238-8877 FAX:026-238-8870

添付資料：予算書

## 信州山の日2022(木工教室)収支予算(案)

## 収支予算書

## 【収入の部】

大項目	中項目	予算額	摘要
事業費	PR事業費	126,000	材料費、加工費、運搬費、印刷費
	木青連本会計 雑費	10,000	お弁当代
収入合計		136,000	

## 【支出の部】

大項目	中項目	予算額	摘要
事業費	材料費	85,800	県産材(杉) イス材料1,320円×65セット
	材料カット代	14,300	イス材料加工220円×65セット
	搬入費	15,000	運搬費(搬入・搬出)
	備品、雑費等	15,000	釘・ブルーシート等、お弁当代
	印刷費	5,900	受付簿、整理券印刷等
支出合計		136,000	(税込)

中島木材（株） 中嶋 章 宛

F A X : 0267-67-3307

メール : info@nakajima-sc.com

※ 報告期限 7月19日（火）までに事務局へ報告願います。

## 信州山の日2022（木工教室）人数確認表

会団名 :

月 日	参加者 氏名	確認欄（○印をしてください）			備考
		午前	午後	お弁当	
7 / 2 4 (日)					



## 大町・松川地区



[トップページ](#) > [大町・松川地区](#) > [What's New](#) > 「信州 山の日」木工体験

### 「信州山の日」木工体験

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年



長野県では県民共通の財産であり、貴重な資源である「山」に感謝し、「山の恵み」を将来にわたり持続的に享受していくため、県独自の「山の日」を制定しています。

アルプスあづみの公園では、この「信州 山の日」に、県内産の木材を使用した「ミニいすづくり」、「マイ箸づくり」を開催します。

【主催・お問合せ】長野県林務部（026-235-7261）  
【協力】長野県木材青年団体連合会

[「信州 山の日」の制定について（長野県ホームページ）](#)

#### マイ箸づくり



長野県産のヒノキ材を使って「マイ箸」を作ってみよう！

- ◇開催日：令和4年7月24日（日）
- ◇時間：10：00～15：00（製作時間は約15分）
- ◇場所：入口広場
- ◇定員：60名
- ◇申込：当日申込
- ◇参加費：無料

#### ミニいすづくり



長野県産のスギ材を使って「ミニいす」を作ってみよう！

- ◇開催日：令和4年7月24日（日）
- ◇時間：(1)10：00～、(2)11：10～、(3)12：20～、(4)13：30～、(5)14：40～
- ◇場所：入口広場（雨天時はレンタル棟）
- ◇定員：各回12名（小学生以下は保護者同伴）
- ◇申込：当日申込
- ◇参加費：無料

※1家族1脚までとさせていただきます

## ビアフェス(木工教室) 事業計画(案)

## ★ 事業計画書

議案作成者 会長 田村 紘一

事業名称：ビアフェス(木工教室)

担当者：田村 紘一

事業主体：長野県木材青壮年団体連合会

実施予定日時：令和4年 8月28日(日) 10:00~16:00

実施予定場所：佐久市交流広場 ※荒天中止

対象者：ビアフェスイベント来場者

趣旨・目的：第1回目となるイベント。昨年のカラマツフェスをきっかけにオファーを頂きました。カラマツフェスをきっかけに木青連の存在を知っていただき、さらに多くの方々に木に触れあってもらいたい思いと、木青連をもっとアピールしたい思いがあり親子木工教室を開催したいと思っております。

事業内容：・来場者に親子木工教室にて、椅子作りを体験していただく。  
・イス作り(イスキット) 60セット  
・販売価格は1,500円

■出展場所は佐久市交流広場 広場中央付近の予定

■昼食はキッチンカーブース利用可能

■荒天の場合は中止。

■新型コロナウイルス感染症対策をして実施する。

準備スケジュール：出席人数等の確認 ※報告期限 8月19日(金)まで

■木青連 ※材料、道具一式は東信木青連佐久支部で用意

・材料(イスキット 65セット)

・木工工作道具(ノコギリ、カナヅチ、釘抜き、釘、紙ヤスリ、キリ、木工用ボンド)

・ブルーシート

・コンパネ

・掃除道具(ほうき、ゴミ袋等)

・机、椅子、テント

実施プログラム：8:30~9:00 資材搬入・準備

10:00~ 開始

①10:00~11:10 15組

②11:10~12:20 15組

③13:30~14:40 15組

④14:40~15:50 15組

※当日スケジュールは確定次第お知らせします。

予算：別紙の通り

担当者：会長 田村 紘一

外部協力者：(株)共立プランニング 日野原氏

[連絡先] TEL:026-238-8877 FAX:026-238-8870

添付資料：予算書・人数確認表

## ビアフェス(木工教室) 収支予算(案)

## 収支予算書

## 【収入の部】

大項目	中項目	予算額	摘要
事業費	販売事業費	90,000	60セット×1,500円
	木青連本会計 雑費	10,000	お弁当代
収入合計		100,000	

## 【支出の部】

大項目	中項目	予算額	摘要
事業費	材料費	71,500	県産材(杉) イス材料1,100円×65セット
	材料カット代	11,700	イス材料加工180円×65セット
	搬入費	0	運搬費(搬入・搬出)
	備品、雑費等	15,000	釘・お弁当代・出展費
	印刷費	1,800	受付簿、整理券印刷等
支出合計		100,000	(税込)

中島木材（株） 中嶋 章 宛

F A X : 0267-67-3307

メール : info@nakajima-sc.com

※ 報告期限 8月19日（金）までに事務局へ報告願います。

## ビアフェス（木工教室）人数確認表

会団名 :

月 日	参加者 氏名	確認欄（○印をしてください）			備考
		午前	午後	お弁当	
8 / 28 (日)					

## 木工体験活動指導者派遣事業(案)

## ★ 事業計画書

議案作成者 事業担当 田村 紘一

事業名称 : 木工体験活動指導者派遣事業

担当副会長 : 田村 紘一

事業主体 : 長野県木材青壮年団体連合会

実施予定日時 : R4.7月上旬～R5.3月

実施予定場所 : 長野県

対象者 : 会団・会員・その他

趣旨・目的 : 長野県補助事業の一環で、地域で行われる木工教室等へ地域材利用に関する知識を持つ者を「木工体験活動指導者」として派遣し、木工体験活動の支援をすることを目的とする。

事業内容 : 県内等で行われる県産材を用いた木工体験活動において、参加者に森林の役割やその利用方法等学びながら、木材の良さを体感してもらう。

指導者は、地域材利用に関する知識を有し、県内に居住している者とし、長野県木青連会長が認めた指導者を派遣し木工体験活動を支援し、指導者へ予算の範囲内で定められた額を賃金又は報償費として支払う。

- ・信州山の日イベント
- ・長野市農業フェア
- ・各木工体験教室など

準備スケジュール : R4. 7月上旬～ 受付

R5. 2月15日 事業終了

実施プログラム : R4. 7月上旬～ 受付開始

※実施報告書の提出があったところから、指導費の支払い

R5. 2月15日 事業終了

R5. 3月17日 事業報告書作成、提出

予算 : 別紙の通り

担当者 : 事業担当 田村 紘一

外部協力者 :

[連絡先]

添付資料 : 予算書

木工体験活動指導者派遣事業 実施要領

## 木工体験活動指導者派遣事業 予算(案)

収支予算書

## 【収入の部】

大項目	中項目	予算額	摘要
事業収入	補助金	279,000	長野県
収入合計		279,000	

## 【支出の部】

大項目	中項目	予算額	摘要
PR事業費	賃金	248,000	20人×4時間(@3,100×4h×20人)
	謝金	27,900	3人×3時間(@3,100×3h×3人)
	役務費	3,100	送金手数料等
支出合計		279,000	(税込)

# 令和4年度 木工体験活動指導者派遣事業 実施要領

長野県木材青壮年団体連合会  
令和4年6月22日

## (目的)

第1 地域で行われる木工教室等へ地域材利用に関する知識を持つ者を「木工体験活動指導者」(以下「指導者」という。)として派遣し、木工体験活動の支援をすることを目的とする。

## (木工体験活動指導者)

第2 指導者は、地域材利用に関する知識を有し、県内に居住している者とする。

## (派遣の対象活動)

第3 参加者に森林の役割やその利用方法等学びながら、木材の良さを体感してもらい、県内各地域で行われる県産材を用いた木工体験活動。

## (活動支援)

第4 長野県木材青壮年団体連合会(以下「長野県木青連」という。)は、第2に掲げる者で長野県木青連会長認めた指導者を派遣し木工体験活動を支援するものとする。

2 指導者へは、長野県木青連が予算の範囲内で定められた額を賃金又は報償費として支払うこととする。

3 前項の経費(賃金又は報償費)については、別に定める。

## (手続き等)

第5 指導者の派遣については、次により行うものとする。

### (1) 派遣の申請

指導者の派遣を希望する活動主体等は、活動希望日の15日前までに指導者派遣(様式第1号)により長野県木青連会長へ提出するものとする。

なお、活動主体等は、長野県木青連会長から指導者の紹介を受けることができる。

### (2) 派遣の決定

長野県木青連会長は、提出された指導者派遣が適当と認められる場合は、活動主体等に対して適当である旨の通知をするものとする。(様式第2号)

### (3) 活動の報告

指導者の派遣を受けた活動主体等は、活動終了後1ヶ月以内に指導者活動結果報告書(様式第3号)により、長野県木青連会長へ活動結果を報告するものとする。

### (4) 活動支援の支払い

活動主体等より、活動の報告が提出され内容等適当と認められる場合は、活動支援の支払いを通知とともにするものとする。(様式第4号)

## (長野県木青連が行う活動)

第6 長野県木青連は、自ら行う木工体験活動についても、第2に掲げる者へ指導を依頼することができる。

2 指導者への賃金又は報償費の支払いは、第4に準じるものとする。

## (補則)

第7 この要領に定めるもののほか、この要領の施行に際し必要な事項は、長野県木青連会長が定める。

## 附 則

この要領は、令和4年6月22日から施行する。

(別添)

1. 指導者活動経費等

項目	単価	備考
報償費	1時間 3,100円	交通費含む ※ただし、最大4時間(12,400円)を上限とする。 注)木青連会員以外の方が対象
賃金	1時間 3,100円	交通費含む ※ただし、最大4時間(12,400円)を上限とする。 注)木青連会員が対象

2. 事業完了日

本事業による木工体験活動指導者支援は、令和5年2月15日までとする。



長野県木材青壮年団体連合会 会長 様

(申請者)  
住 所  
名 称  
代表者名

印

木工体験活動を下記のとおり行いたいので、指導者の派遣を希望します。

記

1 木工体験活動の概要

日 時	令和 年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分
場 所	
対 象 者	
参加予定人数	子ども 人 大人 人 合計 人
内 容	

2 派遣を希望する指導者

指導者人数	名
指 導 者	<input type="checkbox"/> 貴会が指定する者 <input type="checkbox"/> 当方が指定する者 ① ② ③

3 連絡先

名 称	
担当者氏名	
電 話	
F A X	
備 考	

申請者 様

長野県木材青壮年団体連合会  
会長 田村 紘一

先に木工体験活動の提出があったこのことについて、

下記のとおり派遣します

都合により派遣を見送ります

記

1 木工体験活動の概要

日 時	令和 年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分
場 所	
対 象 者	
参加予定人数	子ども 人 大人 人 合計 人
内 容	

2 派遣する指導者

指導者人数	名
指 導 者	

長野県木材青壮年団体連合会 会長 様

(申請者)  
住 所  
名 称  
代表者名

印

下記のとおり活動結果を報告します。

記

1 木工体験活動の概要

日 時	令和 年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分
場 所	
対 象 者	
参加人数	子ども 人 大 人 人 合計 人
内 容	

2 派遣指導者

指導者人数	名
指 導 者	

3 連絡先

名 称	
担当者氏名	
電 話	
F A X	
備 考	

※添付資料：活動状況等がわかる写真3～5枚程度添付

(振込先口座登録)

令和 4 年度

木工体験活動指導者派遣事業 活動費振込先口座

フリガナ		
口座名義人		
金融機関		
預金種別		
口座番号		
連絡先 (担当者等)	住所	
	TEL	
	担当者名	

申請者 様

長野県木材青壮年団体連合会  
会長 田村 紘一

先に木工体験活動結果の報告があったこのことについて、以下のとおり確定いたしましたので、活動支援をお振込みいたします。

なお、下記金額は、課税所得とみなされるので、税金の納付は各自で行ってください。

記

1 活動支援

指導者	活動時間	単価	計 (a)	お支払金額 (最高 12,400 円)
	時間	3,100		
	時間	3,100		
	時間	3,100		
	時間	3,100		
	時間	3,100		
合 計				

2 お振込み金額

金	円
---	---

**※上記金額は、課税所得とみなされるので、税金の納付は各自で行ってください。**

## 全国会員長野大会実行委員会設置（案）

事業計画書

議案作成人 代行副会長 宮崎淳貴

### ★全国会員長野大会実行委員会設置

事業名称：全国会員長野大会実行委員会設置

担当：全国会員長野大会 実行委員会委員長予定者 宮崎 淳貴

事業主体：長野県木材青壮年団体連合会

実施予定日時：令和4年度・令和5年度・令和6年度

実施予定場所：適宜

対象者：長野県木材青壮年団体連合会

会員28名

趣旨・目的：令和6年度開催予定の全国会員長野大会にむけて、長野県木青連全体で計画・準備していくため、全国大会実行委員会を設置する。

事業内容：全国大会の企画・運営等を計画する。

委員長：全国会員長野大会 実行委員会委員長予定者 宮崎 淳貴

委員：長野県木青連全会員・事務局主事松本さん・オブザーバー日野原さん

準備スケジュール：令和4年8月20日（土）第2回定例理事会にて審議

以降、全国会員長野大会実行委員会のスケジュールによる

実施プログラム：理事会終了時に全国会員長野大会実行委員会を開催することを基本に随時開催

担当者：全国会員長野大会 実行委員会委員長予定者 宮崎 淳貴

外部協力者：

添付資料：

## 役員選考委員会設置（案）

### 事業計画書

議案作成人 会長 田村 紘一

#### ★役員選考委員会設置

事業名称：役員選考委員会設置

担当：会長 田村 紘一

事業主体：長野県木材青壮年団体連合会

実施予定日時：令和4年度

実施予定場所：適宜

対象者：長野県木材青壮年団体連合会  
会員28名

趣旨・目的：長野県木材青壮年団体連合会会則に基づき、役員選考委員会を設置する。

事業内容：令和5年度役員を選考する。

委員長：会長 田村 紘一

委員：大藏直前会長・宮崎代行副会長・由井副会長・池田副会長  
坂田会団長・小林会団長・田中会団長

準備スケジュール：令和4年8月20日（土）第2回定例理事会にて審議  
以降、選考委員会のスケジュールによる

令和5年2月予定第4回定例理事会にて次年度役員を選出

実施プログラム：理事会終了時に選考委員会を開催することを基本に随時開催

担当者：会長 田村 紘一

外部協力者：

添付資料：

## 第2回定例理事会開催(案)

日	時	令和4年8月20日(土)	
場	所	長野県林業センター(長野市) もしくは WEBEX	
スケジュール	正副会長・事務局会議	14:30～14:50	
	理事会	15:00～17:00	
	懇親会	未定	



令和4年度 会団活動報告

北信木青連

会団長 坂田 庄蔵

副会団長 峯村 亮

7月 1日（金） 北信木青連総会 長野

木協会議室

## 令和4年度 東信木青連活動報告

会団長 小林 寿徳  
副会団長 由井 正宏

4月 9日 県青連 理事予定者会議  
7月 9日 県青連 理事会

Zoom会議  
長野県林業センター

## 令和4年度松本材青会活動報告

会団長 田中 一興

副会団長 石亀 道一

5月 31日 (火) 定例総会

書面議決

7月 9日 (土) 長野県木青連第1回理事会

長野